



西南学院大学博物館年報 第6号

ANNUAL REPORT OF SEINAN GAKUIN UNIVERSITY MUSEUM No.6
2013





西南学院大学博物館年報 第6号

ANNUAL REPORT OF SEINAN GAKUIN UNIVERSITY MUSEUM No.6

2013

 西南学院大学

巻 頭 言

本大学博物館は研究・教育の拠点として、さらには「社会へ開かれた大学」を具現化するために、さまざまな取り組みを行っております。展示活動や本学学生の教育活動、さらには大学の枠を越えた活動にも取り組み、ますます博物館活動の充実に努めております。

今年も例年通り、春季と秋季の特別展を行い、パネル展示での2回の企画展、実習生企画展を行いました。特別展では、シリーズとして継続している九州キリスト教シリーズⅣと、大学博物館共同企画シリーズⅢを開催いたしました。今年度は新たな地域にスポットを当て、新たな連携先と共同するなど、シリーズとしての成果を積み重ねております。また、周辺地域の子どもを対象とした「せいなんこどもワークショップ」を4回開催し、多くの参加者を得ました。保護者の方も見学されるなど、楽しくかつ教育的な取り組みとして地域に浸透してきました。

新たな取り組みとしては、産官学連携事業をスタートさせました。(株)インテックス、(株)ツカサ創研の協力を得て、当館の取り組みをまとめたパンフレットと展示ケースを作成し、天草市立天草キリシタン館に展示ブースを設置しました。そして、刊行物は、例年に引き続き、特別展の図録、ニュース、研究紀要第2号を発刊しました。また、学内G P「大学博物館における高度専門学芸員養成事業 一日中韓の大学博物館調査一」、教育I P「実践力のある博物館職業人の育成事業」の取り組みを引き続きおこないました。中国における調査も行い、着実な成果を挙げております。

2013年度の活動報告として本書を刊行します。今後も引き続き、大学博物館での調査協力ならびに忌憚ないご意見をお寄せいただき、大学博物館運営にご指導・ご鞭撻賜りますようよろしくお願い申し上げます。

2014年10月31日

西南学院大学博物館
館長 宮崎 克則

目次

巻頭言	3
2013年度事業報告	
1. 展示活動	
春季特別展「九州のキリスト教シリーズⅣ 平戸松浦家の名宝と禁教政策 -投影された大航海時代とその果てに-」実施報告	5
秋季特別展「大学博物館共同企画シリーズⅢ 学内GP成果展 日本信仰の源流とキリスト教 -受容と展開、そして教育-」実施報告	10
企画展「蒙古襲来絵詞と元寇防塁」実施報告	15
企画展「古写真でみる西南学院 part3」実施報告	16
2. 教育活動	
博物館実習	17
博物館実習成果展Ⅴ	23
2013年度 せいなんこどもワークショップ概要	24
2013年度 博物館教職員活動記録	26
博物館刊行物・成果物	27
博物館講堂使用状況	30
3. 調査・研究	
教育IP調査状況	31
学内GP調査状況	33
4. 来館者動向	
来館者統計	36
特別展期間中来館者動向	37
来館団体一覧	42
5. その他	
2013年度 寄贈・購入図書一覧	43
西南学院大学博物館組織	47

2013年度事業報告

1. 展示活動

春季特別展

「九州のキリスト教シリーズⅣ 平戸松浦家の名宝と禁教政策 —投影された大航海時代とその果てに—」 実施報告



会期：2013年6月8日(土)～8月3日(土)

会場：西南学院大学博物館特別展室

主催：西南学院大学博物館

共催：公益財団法人松浦史料博物館

後援：福岡市 福岡市教育委員会 福岡市文化芸術振興財団

協力：船の科学館・海と船の博物館ネットワーク

第13回特別展関連公開講演会

日時 2013年7月6日(土) 14:00～16:00

会場 大学博物館2階講堂

講師 安高 啓明 氏 (本学博物館学芸員) 「平戸藩の禁教政策」

久家 孝史 氏 (公益財団法人松浦史料博物館学芸員) 「平戸松浦家の歴史と伝来する資料」

九州のキリスト教シリーズⅣ

「平戸松浦家の名宝と禁教政策 - 投影された大航海時代とその果てに -」

事業内容

本展覧会は、本学博物館がシリーズ企画で展開している“九州のキリスト教シリーズ”の第四弾にあたるものである。本展覧会でご協力いただいた平戸市および松浦史料博物館では、数多くの対外交渉史を示す資料を所蔵されているのにあわせ、キリスト教関連資料もある。本シリーズに相応しい資料とともに、平戸松浦家が代々所蔵してきた名宝の数々も取り上げることで、これまでとは一線を画した展覧会にすることができた。

また、本事業は船の科学館・海と船の博物館ネットワークから支援を受けて実施した。そこで、本学博物館での展覧会終了後に、本学資料を中心とした展覧会を実施することとなった。平戸市在住の方はもとより、観光客にも本学博物館をPRすることにつながった。そして、大学の地域貢献の一手段として、博物館をツールとした事業展開を示すことができたものと考えている。大学博物館、そして地域博物館が協働するあり方は、本事業の“九州のキリスト教シリーズ”が目指しているところであり、2013年度に新たな展開を示すことができたと考えている。

開催概要

海外交流を通じて発展してきた“港市”平戸。1550年にポルトガル船が入港して以降、平戸には南蛮船が往来し、市中にはオランダ、イギリス商館が設けられた。平戸藩主松浦家は、南蛮貿易を積極的に展開して富を蓄えていき、これにあわせて、平戸には新しい文化、思想も根付くことになった。

鎖国体制が確立する移行期から、貿易の拠点が長崎に移されると、平戸を取り巻く環境も変化していく。しかし一度、萌芽した異国への情趣はなかなか消えることはなかった。平戸藩主松浦家にはその傾向が強く残り、蘭癖大名とも称される松浦静山の動きはこれを如実にあらわしている。

他方、禁教政策も反映され、伴天連追放令にはじまり、原城攻めへの参加、そして絵踏などキリシタン弾圧が実施されていく。幕府に打ち出された政策が、平戸でも断行されていったのであった。

本特別展は、南蛮船行き交う“開かれた港市”の華やかさと、ここを治めた平戸藩主松浦家の名宝にスポットをあて、ほかの地域にはみられない港市の姿を紹介していく。あわせて、江戸時代の禁教政策をおこなった平戸藩の実相に迫っていく。

I. 大航海時代と港市平戸

展示構想と手法

南蛮船との交易により繁華した平戸を象徴するように、会場入り口に南蛮船模型を展示した。“港市”平戸のイメージを来館者に視覚で訴えるうえで効果的だった。これにあわせて、当時の松浦家のなかで、キ



リスト教を庇護した人物を取り上げ、次章との関連付けをおこなった。貿易と布教が表裏一体でおこなわれていた実態を、対比展示により理解を促した。

II. 松浦家の名宝と異国趣味

禁教下のなかでも、松浦家は、異国への想いを強めていった。まさに、鎖国体制確立以前に南蛮船寄港地となっていたことが素地にあった。そこで、松浦家の名宝を展示するなかで、海外との関係を示す資料を紹介した。また、これら名宝のなかにはキリスト教関係のものも含まれるなど、禁教の世における松浦家の収集の実相を取り上げた。



III. 禁教とその展開

松浦家の資料から平戸でどのような禁教政策がおこなわれていたのかに迫った。なかでも、伴天連追放令（キリシタン禁制定書）を象徴的に取り上げ、独立ケース内に展示した。また、鎖国期を反映する踏絵について、これを写した資料を紹介し、展示できない箇所は、拡大パネルにて解説して対応した。



IV. 平戸の海外交流

鎖国以前から平戸は大陸と交流していた。また、オランダ商館ができたことによって新たな展開となるが、これまでの平戸の海外交流の諸相を示す発掘遺物を展示した。来館者に当時の息吹を伝える効果的な教育が展開できた。あわせて、平戸市のキリシタン関係の遺跡などをパネルで紹介し、現状理解にも努めた。

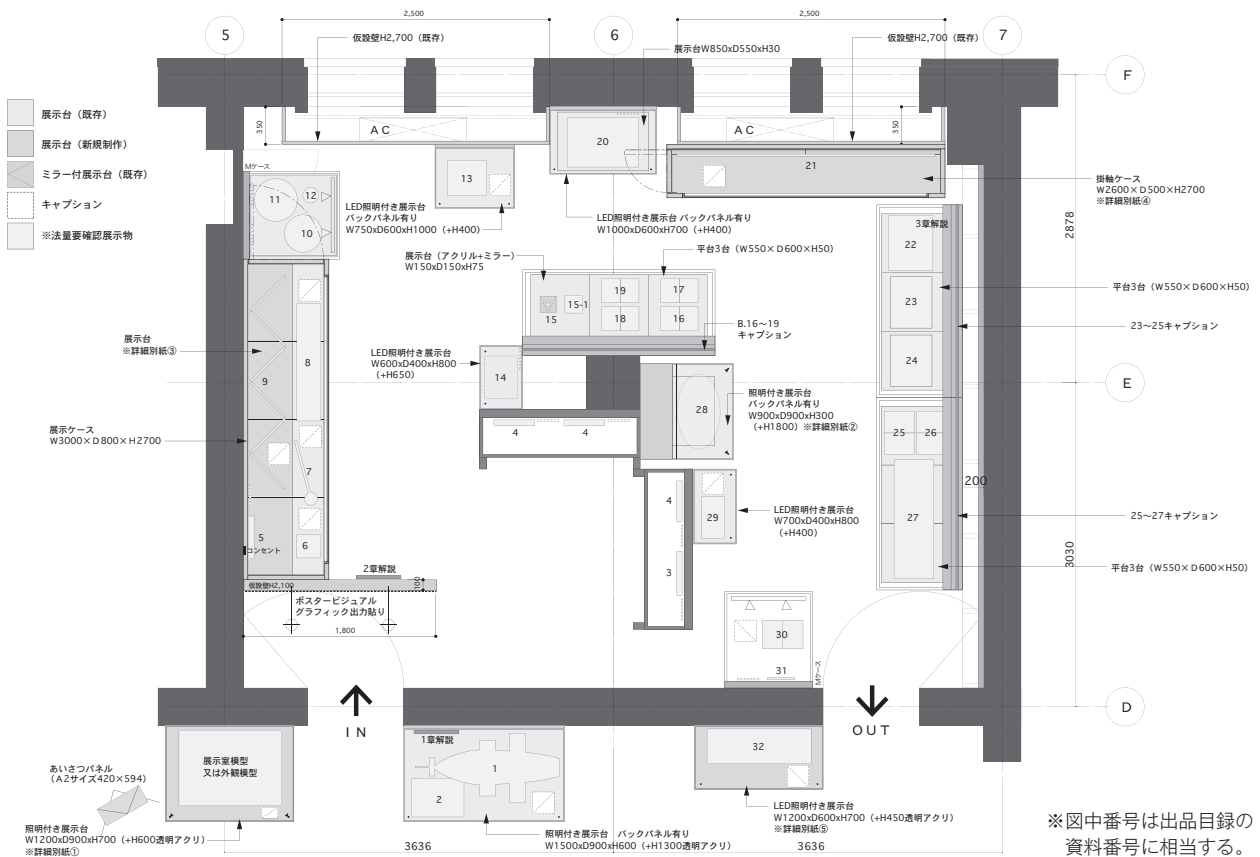


西南学院大学博物館地域連携事業

本展覧会は船の科学館・海と船の博物館ネットワークから支援を受けて開催した。そこで、大学博物館で展覧会の閉幕後、ご協力いただいた松浦史料博物館の会場一室を借りて「日本キリスト教史の展開」(会期：8月6日～9月8日)を開催した。大学博物館所蔵で一般にはあまり知らされていない資料を、展覧会開催を通じて公開した。大学博物館の周知はもとより、大学の地域貢献という要素も加わり、実りのある展覧会となった。



特別展室（西南学院大学博物館会場）平面レイアウト



2013年度秋季特別展 九州のキリスト教シリーズⅣ 「平戸松浦家の名宝と禁教政策」 出品目録

Ⅰ. 大航海時代と港市平戸

番号	資料名	年代等	数量	所蔵先	備考
1	ポルトガル船模型	—	1	公益財団法人 松浦史料博物館	
2	八幡船船幟	16世紀	1	公益財団法人 松浦史料博物館	長崎県指定有形文化財
3	松浦隆信(道可)肖像	江戸時代	1	公益財団法人 松浦史料博物館	
4	平戸図(写)	1621年	1	平戸市教育委員会	
5	松東院・正宗院・清浄院肖像	1653年	1 (3幅対)	公益財団法人 松浦史料博物館	長崎県指定有形文化財

Ⅱ. 松浦家の名宝と異国趣味

番号	資料名	年代等	数量	所蔵先	備考
6	受胎告知図柄 菓子鉢	17世紀	1	公益財団法人 松浦史料博物館	
7	オランダ焼西瓜皿	江戸時代	1	公益財団法人 松浦史料博物館	
8	伊良保茶碗	江戸時代前期	1	公益財団法人 松浦史料博物館	
9	資始具足	江戸時代前期	1	公益財団法人 松浦史料博物館	長崎県指定有形文化財
10	源氏物語絵図屏風	江戸時代前期	1	公益財団法人 松浦史料博物館	
11	青貝地三星紋鞍	江戸時代	1	公益財団法人 松浦史料博物館	
12	三星梶葉入糸巻太刀拵	江戸時代	1	公益財団法人 松浦史料博物館	
13	青貝地梶葉紋馬柄杓	江戸時代後期	1	公益財団法人 松浦史料博物館	
14	梶葉紋散菊唐草蒔絵十二手箱	江戸時代	1	公益財団法人 松浦史料博物館	
15	木琴	江戸時代	1	公益財団法人 松浦史料博物館	
16	蛸蝶譜	江戸時代	1	公益財団法人 松浦史料博物館	
17	子孫永宝印	江戸時代	1	公益財団法人 松浦史料博物館	
18	『字義的・実践的聖書積義・Ⅰ創世記』	1741年	1	公益財団法人 松浦史料博物館	
	『字義的・実践的聖書積義・Ⅱ創世記』	1743年	1	公益財団法人 松浦史料博物館	
19	『字義的・実践的聖書積義・Ⅲ出エジプト記上』	1746年	1	公益財団法人 松浦史料博物館	
	『字義的・実践的聖書積義・Ⅳ出エジプト記下』	1748年	1	公益財団法人 松浦史料博物館	
20	甲子夜話	1821~1841年	1	公益財団法人 松浦史料博物館	長崎県指定有形文化財

Ⅲ. 禁教とその展開

番号	資料名	年代等	数量	所蔵先	備考
21	キリシタン禁制定書	1587(天正15)年	1	公益財団法人 松浦史料博物館	長崎県指定有形文化財
22	じゃがたら文	1655(寛文5)年	1	公益財団法人 松浦史料博物館	
23	奉書(元和7年寛)		1	公益財団法人 松浦史料博物館	
24	奉書(寛永18年8月14日)	1641年	1	公益財団法人 松浦史料博物館	
25	原城攻囲陣営並城中図	江戸時代	1	公益財団法人 松浦史料博物館	長崎県指定有形文化財
26	宮本武蔵像	1827(文政10)年	1	公益財団法人 松浦史料博物館	
27	絵版之図	1830年	1	公益財団法人 松浦史料博物館	
28	類族改定格	1789年	1	公益財団法人 松浦史料博物館	
29	敬考述事	江戸時代	1	公益財団法人 松浦史料博物館	
30	長崎裁判所より浦上切支丹取締りの件	1868年	1	公益財団法人 松浦史料博物館	

Ⅳ. 平戸の海外交流

番号	資料名	年代等	数量	所蔵先	備考
31	モンタヌス著『日本誌』(参考)		—	—	
32	平戸オランダ商館跡遺物ー中国陶磁器ー	16~17世紀	6	平戸市教育委員会	
33	平戸オランダ商館跡遺物ーガラス製品ー	16~17世紀	3	平戸市教育委員会	
34	平戸オランダ商館跡遺物ー瓦とレンガー	16~17世紀	3	平戸市教育委員会	

秋季特別展

「大学博物館共同企画シリーズⅢ 学内GP成果展 日本信仰の源流とキリスト教 -受容と展開、そして教育-」 実施報告



会期：西南学院大学博物館会場 2013年11月1日(金)～12月21日(土)

國學院大学博物館会場 2014年1月7日(火)～2月28日(金)

会場：西南学院大学博物館特別展室

主催：西南学院大学博物館 國學院大学博物館

後援：福岡市 福岡市教育委員会 福岡市文化芸術振興財団 南島原市 南島原市教育委員会

第14回特別展関連公開講演会

日時 2013年12月7日(土) 14:00～16:00

会場 大学博物館2階講堂

講師 安高 啓明氏 (本学博物館学芸員)「日本信仰の源流とキリスト教」

深澤 太郎氏 (國學院大学助教)「『神道』の成立と外来文化」

大学博物館共同企画シリーズⅢ 学内GP成果展

「日本信仰の源流とキリスト教 - 受容と展開、そして教育 -」

事業内容

本展覧会は、これまで本学博物館が取り組んできた大学博物館同士の連携展の第3弾で、“宗教”をテーマとして開催したものである。連携相手である國學院大學博物館は、歴史ある大学博物館で、神道を中心とした資料を収蔵している。日本宗教史を考えると、日本の原始宗教である神道が脈々と日本人のなかに生き続けており、そこに、仏教、さらにキリスト教が訪れる。そうした宗教史の変遷をみるなかで、キリスト教をどのように位置付けることができるのか取り上げていった。

また、本学博物館では2011年度より学内GP「大学博物館における高度専門職学芸員養成事業」の採択を受けて調査を進めている。本特別展は、この調査においてご協力いただいた國學院大學博物館との共同事業となった。展示にあたっては、将来、学芸員への就業を希望する大学院生を中心にあたらせ、学芸員が展覧会を作っていく過程を直接体験させる機会とした。そのなかで、本学博物館での会期終了後に、國學院大學博物館で同一の巡回展を実施し、会場が違うことで、展示イメージもかわるということを直接示すことができる機会となった。

事業にあたり、本学博物館での特別展会期中に國學院大學博物館から、國學院大學博物館での会期中に本学から教員を派遣し、講演会を実施した。ギャラリー・トークもおこなったことで、来館者と近い距離で展示内容を紹介することができ、効果的な教育展開を可能とした。

開催概要

日本人は心の拠り処を“祈り”で表現する。

自然崇拜、そして八百万の神々に祈りを捧げる神道は、まさに古代日本人の祈りの原点である。他方、大陸から仏教が伝えられると、多くの日本人に受け入れられ、時の権力者も帰依して大規模な寺院が造られた。また、日本の神道と仏教を混淆する神仏習合という概念も芽生えて、これにまつわる神社仏閣も各地で生まれていった。

1549年、フランシスコ・ザビエルが鹿児島に上陸する。キリスト教の東方伝播の波がまさに日本に訪れた瞬間である。九州各地、そして山口、京都へ向かったザビエルは各地に足跡を残し、ザビエルが日本を離れたあとも宣教師らによって布教活動は続けられ、南蛮文化の萌芽とともに、多くのキリシタンが登場した。しかし、こうした時代も長くは続かず、豊臣秀吉の伴天連追放令に始まる一連の禁教政策は日本の国是として、以降、断行されていくことになった。

このような歴史的変遷があったが、日本は海外列強を前に開国を迎え、明治新政府が樹立すると宗教教育も盛んになる。近代国家の訪れは、教育の質的向上のなかで高等教育機関を誕生させた。西南学院大学はキリスト教、國學院大學は神道を建学の理念としている。両大学が近代から現代にかけてどのような歴史的かつ教育的変遷を遂げてきたのか。戦時下における学校教育の現状も踏まえて紹介していく。

日本人の信仰の源流にはなにがあったのか。そして今日に至るまでにどのような転機があったのか。祈りの変遷をたどるとともに、2011年度に西南学院大学博物館が採択された学内GP「大学博物館における高度専門学芸員養成事業」の成果の一部である。

I. 日本宗教の特質

日本の原始宗教である神道を紹介するため、國學院大學博物館の資料を中心とした展示となった。発掘遺物ばかりでなく、土偶や神像、卷子も展示することで、立体的な展示をおこなうことができた。神仏習合も含めて、キリスト教伝来以前の日本宗教史を具体的、かつわかりやすく紹介することができた。なお、土偶を会場入り口に展示したが、演示台を製作し、立体的かつ迫力のある見せ方をすることができた。



II. キリスト教の伝来

キリスト教が日本に訪れる前、非西欧圏に伝播していた実態を、イコンなどを通じて紹介した。日本に訪れて以降、キリスト教が受容されたものの、その後、禁教に転じたことを、当時の時代背景を含めながら紹介した。政治と宗教の関係性を示すとともに、禁教下においても信仰が保持されていた実態を取り上げていった。また、南島原市教育委員会からもキリシタン遺物を借用し、信仰面の説明強化をおこなった。



III. 近代国家と宗教政策

幕末に締結された安政五ヶ国条約以降の宗教政策の転換、さらに明治政府にどのような対応がとられたのかについて紹介した。さらに、國學院大學と西南学院大学の大学史についても取り上げ、宗教を母体とする大学が、今日に至るまでどのような変遷があったのかを取り上げていった。両校の歴史をみていくことによって、大学の理解を深めてもらうことにつながった。

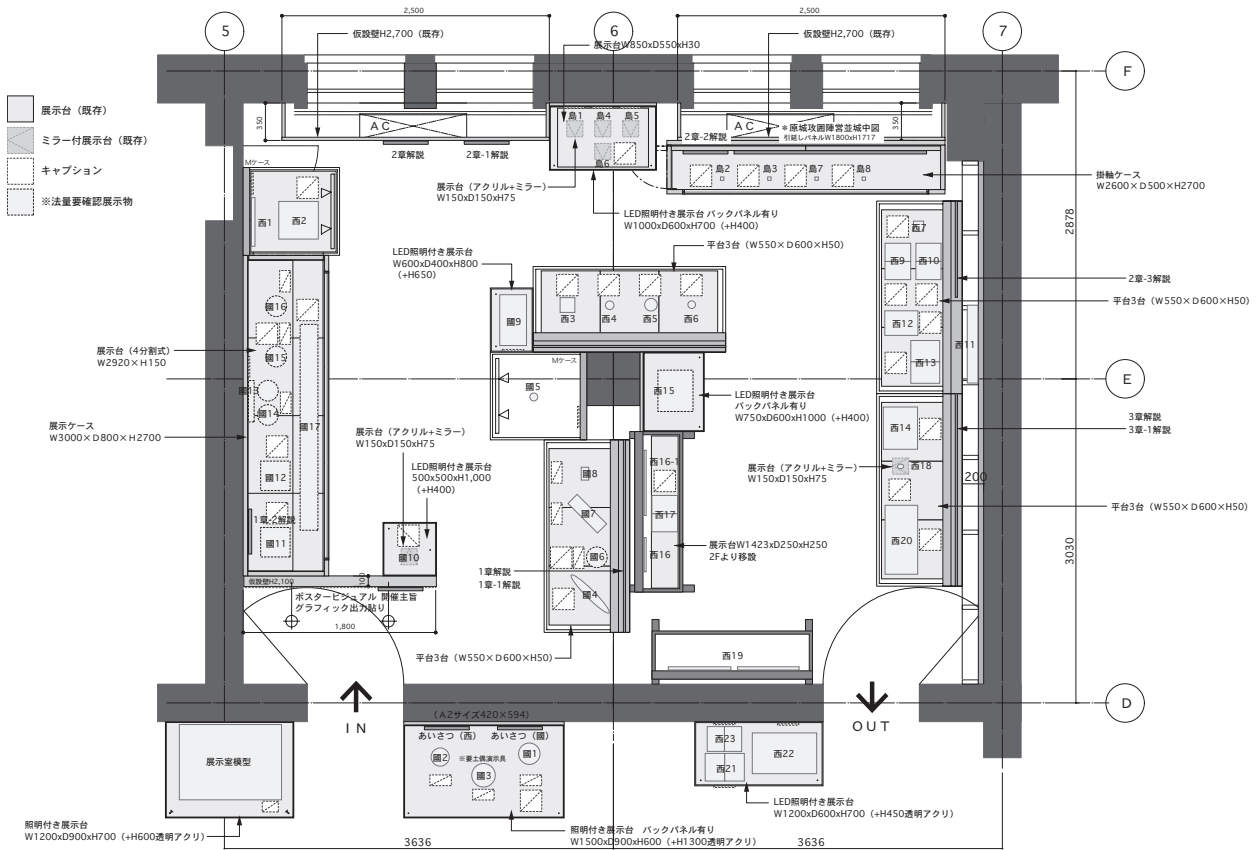


國學院大學博物館会場風景

同一内容の展示をおこなったが、クラシカルな建物の本学博物館と近代的な施設の國學院大學博物館では、展覧会のイメージが全く異なっていた。学生に展示に関わらせることでよりよい実践教育をおこなうことができた。



特別展室（西南学院大学博物館会場）平面レイアウト



※ 図中番号は出品目録の資料番号に相当する。

2013年度秋季特別展「日本信仰の源流とキリスト教」出品目録

I. 日本宗教の特質

番号	資料名	中国語訳	英語訳	年代等	数量	所蔵先
1	石棒 出土地不詳	石棒 出土地不詳	Stone bar .The find site is unknow	縄文時代 中期～後期	1	國學院大學博物館
2	遮光器土偶 東北地方出土	遮光器陶偶 東北地区出土	Dogu (clay figurine) with the goggle-eyed. Excavated from Tohoku region	縄文時代晩期	1	國學院大學博物館
3	縄文土器(台付浅鉢) 秋田県東在家出土	縄文土器(浅底鉢) 秋田県東在家遺跡出土	Ware. Excavated from Higashizaika, Akita	縄文時代晩期	1	國學院大學博物館
4	縄文土器(鉢) 出土地不詳	縄文土器(鉢) 出土地不詳	Ware. The find site is unknow	縄文時代晩期	1	國學院大學博物館
5	銅剣 出土地不詳	銅剣 出土地不詳	Doken (bronze sword). The find site is unknow	弥生時代中期	1	國學院大學博物館
6	銅鉾 出土地不詳	銅花車 出土地不詳	Dohoko (bronze halberd). The find site is unknow	弥生時代後期	1	國學院大學博物館
7	銅戈 出土地不詳	銅矛 出土地不詳	Doka(bronze sword). The find site is unknow	弥生時代後期	1	國學院大學博物館
8	石戈 出土地不詳	石矛 出土地不詳	Sekka (stone sword). The find site is unknow	弥生時代後期	1	國學院大學博物館
9	銅鐸 伝滋賀県大岩山出土	銅鐸 传滋賀県大岩山出土	Dotaku (bell-shaped bronze). Excavated from Oiwayama, Shiga	弥生時代後期	1	國學院大學博物館
10	三角縁神兽鏡 出土地不詳	三角縁神兽鏡 出土地不詳	Triangular-rimmed Mirror with divinity and animal design. The find site is unknow	古墳時代前期	1	國學院大學博物館
11	祭祀遺物 福島県建鉾山遺跡出土	祭祀遺物 福島県建鉾山遺跡出土	Saishi (religious service) vestige. Excavated from Tatehokoyama site, Fukushima	古墳時代中期	一括	國學院大學博物館
12	祭祀遺物 東京都和泉浜遺跡C地点出土	祭祀遺物 東京都和泉浜遺跡C地点出土	Saishi (religious service) vestige. Excavated from Zumihama site, Tokyo	飛鳥時代	一括	大島町教育委員会
13	八稜鏡 奈良県金峯山経塚出土	八稜鏡 奈良県金峯山経塚出土	Hachiryokyo (eight-lobed bronze mirror) , Excavated from Kinpusen sutra mound, Nara	平安時代後期	3	國學院大學博物館
14	御正躰	御正体	Votive plaque	鎌倉時代前期	1	國學院大學博物館
15	男神像・女神像	男神像・女神像	Statues of male and female gods	年代不詳	1対	國學院大學博物館
16	僧形八幡神図	僧行八幡神図	Picture of Hachiman (god of war) as a Buddhist monk	江戸時代前期	1	國學院大學博物館
17	北野天神縁起	北野天神縁起	Kitano Tenjin Engi (legends about the origin of Kitano Tenjin Shrine)	安土桃山時代	1	國學院大學博物館

II. キリスト教の伝来

番号	資料名	中国語訳	英語訳	年代等	数量	所蔵先
18	三位一体	三位一体	Old Testament Trinity	19世紀	1	西南学院大学博物館
19	農民聖イシドロ	农民圣Isidorus	Farmer St. Isidoro	19世紀	1	西南学院大学博物館
20	被昇天の聖母マリア	被升天的圣母玛利亚	Assumption of the Virgin Mary	19世紀	1	西南学院大学博物館
21	無原罪の御宿り	无原罪的住处	Immaculate Conception	18世紀	1	西南学院大学博物館
22	景教僧文青磁壺	景教僧文青磁壺	Porcelain of Keikyo priest	13世紀	1	西南学院大学博物館
23	フランシスコザビエル像	方济各沙忽略像	Statue of St. Francisco Xavier	18世紀	1	西南学院大学博物館
24	十字架	十字架	Cross	17世紀	1	南島原市教育委員会
25	十字架	十字架	Cross	17世紀	1	南島原市教育委員会
26	十字架	十字架	Cross	17世紀	1	南島原市教育委員会
27	メダイ	徽章	Medal	17世紀	1	南島原市教育委員会
28	メダイ	徽章	Medal	17世紀	1	南島原市教育委員会
29	メダイ	徽章	Medal	17世紀	1	南島原市教育委員会
30	ロザリオ(珠)	玫瑰念珠	Rosary	17世紀	2	南島原市教育委員会
31	マリア観音像	玛利亚观音像	Small statue of Mary Kannon	18世紀	1	西南学院大学博物館
32	キリシタン魔鏡	魔鏡	Magic mirror	江戸時代	1	西南学院大学博物館
33	切支丹宗門由来記	天主教徒历史的资料	Documents with history of the ban on Christianity	江戸時代後期	1	西南学院大学博物館
34	天草軍記	天草军记	Amakusagunki (Records of Amakusa - Shimabara Rebellion)	江戸時代後期	1	西南学院大学博物館
35	砲弾	炮弹	Bullets	17世紀	5	南島原市教育委員会
36	キリシタン制札	天主教徒告示牌	Proclamation banning Christianity	天和2(1682)年	1	西南学院大学博物館
37	宗門改影踏帳	踩画像人名账目	Documents with the name of apostates	嘉永5(1852)年	1	西南学院大学博物館
38	軀切支丹之類族本帳渡候者共之帳	五島上宗教調査資料	Documents with the investigation of apostates living in the domain of Goto	安永6(1777)年	1	西南学院大学博物館
39	宗門手形	宗教人口調査票	Religious census certificates	寛政10(1798)年	1	西南学院大学博物館
40	出島図	出島图	Map of Dejima	18世紀	1	西南学院大学博物館
41	紅毛人ブラケット	荷兰人壁掛	Small wall hanging of a Dutch made of lacquer	18~19世紀	1	西南学院大学博物館
42	南京国寧波湊明船之図	南京国宁波湊明船图	Picture of Chinese ship	江戸時代後期	1	西南学院大学博物館
43	清俗紀聞	清俗纪闻	Records of Chinese custom and culture	寛政11(1799)年	1	西南学院大学博物館
44	潜伏吉利支丹ころひ連記血判書	潜伏天主教徒的连记血书	Document with a blood seal	嘉永3(1850)年	1	西南学院大学博物館

III. 近代国家と宗教政策

番号	資料名	中国語訳	英語訳	年代等	数量	所蔵先
45	安政五ヶ国条約(写)	安政五国条约	Five Nations Treaty of Ansei (copy)	江戸時代後期	1	西南学院大学博物館
46	プチャーチン会谈之図	Putyatín会谈图	Picture of Putyatín meeting	江戸時代後期	1	西南学院大学博物館
47	米利幹事略	美利堅事略	Records written concerning events with America	江戸時代後期	1	西南学院大学博物館
48	キリシタン制札	天主教徒告示牌	Proclamation banning Christianity	慶応4(1868)年	1	西南学院大学博物館
49	耶穌教徒群居搜索書	耶稣教徒群居搜索书	Documents of searching christian's domiciles	明治8(1875)年	1	西南学院大学博物館
50	有栖川宮熾仁親王告諭(写)	谕告(手抄)	Document of official notice(copy)	明治15(1882)年	1	國學院大學博物館
51	学階証	学階证	Certificate	昭和10(1935)年	1	國學院大學博物館
52	皇典講究所講演草稿	皇典研究所演讲草稿	Drafts of lecture in Kōtenkōkyūsho	明治22-29 (1889~1896)年	7	國學院大學博物館
53	皇典講究所講演	皇典研究所演讲	Documents of lecture in Kōtenkōkyūsho	明治22-29 (1889~1896)年	7	國學院大學博物館
54	國學院第一回卒業式集合写真	国学院第一届毕业生照	Photo of the graduation ceremony in Kokugakuin	明治26(1893)年	1	國學院大學博物館
55	創立当時の入学式写真	创立时的开学典礼的照片	Photo of the entrance ceremony at the time of the foundation	大正5(1916)年	1	西南学院大学博物館
56	西南学院旧本館写真	西南学院旧本馆的照片	Photo of the old main building of Seinan Gakuin	大正10(1921)年	1	西南学院大学博物館
57	聖書(C・K・ドージャー使用)	圣经	Bible (C.K.Dozier used)	大正6(1917)年	1	西南学院大学博物館
58	ヘレン・ケラー写真	海伦凯勒照片	Photo of Helen Keller	昭和13(1938)年	1	西南学院大学博物館
59	御眞影奉戴写真	御照奉戴照片	Photo of the Emperor and the Empress	昭和12(1937)年	1	西南学院大学博物館
60	奉安所写真	奉安所照片	Photo of Hoansho	昭和12(1937)年	1	西南学院大学博物館
61	菊紋	菊紋	Chrysanthemum crest	昭和12(1937)年	1	西南学院大学博物館
62	軍事訓練写真	军事操练的照片	Photo of the military training exercise	昭和10(1935)年	1	西南学院大学博物館

企画展

「蒙古襲来絵詞と元寇防塁」 実施報告



会期：2013年8月6日(火)～10月22日(火)

会場：西南学院大学博物館

1階廊下前、2階講堂

西南学院大学キャンパス内には、元寇防塁の遺跡があります。鎌倉時代、二度の蒙古襲来があり、その様子を描いたのが『蒙古襲来絵詞』です。鎌倉幕府によって造られた元寇防塁は、この資料にも記録されています。本企画展は『蒙古襲来絵詞』に描かれた元寇防塁や蒙古襲来の様子を紹介したものです。



企画展

「古写真でみる西南学院 part3」実施報告



古写真でみる
西南学院
Ⅲ

2013年12月23日(日)
↓
2014年5月30日(金)

時間 | 午前10時～午後6時 (入館は午後5時まで)
※日曜休館
会場 | 西南学院大学博物館1階廊下前、2階講堂
入場料 | 無料

西南学院大学博物館
〒814-8502 TEL:082-623-4783
FAX:082-623-4782
814-8502 西南学院大学博物館11号
www.seinan-gakuin.ac.jp/museum

会期：2013年12月23日(月)
～2014年5月30日(金)

会場：西南学院大学博物館
1階廊下前、2階講堂

西南学院は2016年に創立100周年を迎えます。本企画展は、過去の記録写真を紐解くことで、西南学院が歩んできた業績を紹介していくものです。合計12枚のパネル写真で構成し、1921年から1951年までの西南学院の様子が垣間見ることができます。竣工当時の西南学院の写真などを展示しました。



2. 教育活動

博物館実習

実習概要

2013年度は、8月26日(月)から9月6日(金)の2週間の博物館実習を行った。今回は西南学院大学より6名とボフム大学からのインターンシップ生1名の計7名で実習を行った。館内と館外の実習で学芸員の基礎的な仕事を学んだ後、それを実践的に応用する実習成果展を学生自身で企画した。

館内実習では、まず博物館資料の台帳記録や調書の作成といった基本的な業務を行い、軸装の展示方法や資料写真の撮影方法を学んだ。更に、日本通運長崎支店の美術作業員さんと印刷会社のインテックスさんに実習に来てもらい、資料梱包方法の実践と印刷物が出来るまでの過程を体験した。

館外実習では福岡県内にある他2つの大学博物館の九州産業大学美術館と九州大学総合研究博物館において見学とヒアリングを行い、大学博物館の使命や理解を深めた。また、福岡の歴史系博物館である九州国立博物館と観世音寺の宝物館の見学をし、展示方法の違いなどを確認した。各博物館の目的や状況に応じて、資料展示方法や開催事業などが異なってくるということがわかる実習内容であった。

以上の基礎的な実習で学んだことを活かして、次に応用として実習生成果展の企画・展示を行った。船の科学館さんから予め借りた資料を調査し、理解を深め企画した。実習生が資料にストーリーを与え、自分たちなりに章を設けた。これを基にして資料をいかに見せるかなどの展示構成と、装飾をすべて手作りし、展示会を完成させた。

学芸員の一連の仕事を学ぶ実習であった。また、学芸員は様々な職種の人たちと関わり、協同して、展示会を作り上げていくということを学ぶことができた。

【2013年度博物館実習生】

福田 勲(神学部) / 木村 マリカ(文学部) / 永尾 優美香(国際文化学部) / 毛利 美里(国際文化学部) / 山下 和香(国際文化学部) / 山尾 彩香(国際文化研究科) / ファリナ・ファブリツイウス(ボフム大学)

【実習風景】



西南学院大学博物館博物館実習スケジュール (担当: 博物館学芸員 安高啓明)

博物館実習(基礎実習):前期

	8/26(月)	8/27(火)	8/28(水)	8/29(木)	8/30(金)	8/31(土)
午前	9:45 博物館研究室集合	9:45 準備	9:45 準備	9:45 準備	9:45 準備	9:45 準備
	9:50 オリエンテーション	9:50 調書作成について	9:50 資料梱包と輸送	9:50 博物館刊行物について	9:50 企画書作成実習①	9:50
	10:30	11:00	11:00	10:20	11:00	11:00
	10:35 館内施設見学	11:05 調書作成実習①	11:05 美専車と輸送	10:25 刊行物作成実践①	11:05 企画書作成実習②	11:05
	12:00	12:00	12:00	12:00	12:00	11:35
昼 食						
午後	13:00 博物館活動と資料目録	13:00 調書作成実習②	13:00 資料梱包実習①	13:00 刊行物作成実践②	13:00 展示レイアウト実習①	13:00 企画書発表⑥
	13:40	13:40	14:30	14:00	14:00	14:30
	13:55 目録作成実習①	13:50 カメラの使い方(図録、目録、調書)	14:40 資料梱包実習②	14:10 刊行物作成実践③	14:00 展示レイアウト実習②	14:40 発表討論①
	14:25	16:00	15:10	15:10	14:20	15:40
	14:30 目録作成実習②	16:10 資料取扱いと展示	15:15 資料梱包実習③ / 展示実践①	15:20 刊行物作成実践④	14:20 企画書作成実習③	15:50 発表討論②
	17:30	17:00	17:00	16:20	16:00	17:30
	17:35 実習日誌作成	17:10 資料梱包と展示予備実習	17:10 展示実践②	16:20 企画展の作り方と教育PG	16:10 企画書作成実習④	17:35 発表討論③
	18:00 戸締り・点検	18:00 実習日誌作成	18:00 実習日誌作成	18:00 実習日誌作成	18:00 実習日誌作成	18:00 実習日誌作成
18:20	18:20	18:20	18:20	18:20	18:20	

博物館実習(実践実習):後期

	9/2(月)	9/3(火)	9/4(水)	9/5(木)	9/6(金)	9/7(土)
午前	9:45 準備	9:45 準備	9:45 準備	9:45 準備	9:45 準備	9:45 準備
	9:50 実習生企画展を考える①	9:50 館外移動	9:50	9:50	9:50	9:50
	11:00	11:00	10:30 企画展作業⑤	11:00 企画展作業⑥	11:00 企画展作業⑩	11:00 ワークショップ
	11:05 実習生企画展を考える②	11:05 館外実習(九州大学総合博物館)	10:30	11:05	11:05	11:05
	12:00	12:00	12:00	12:00	12:00	12:00
昼 食						
午後	13:00 企画展作業①	13:00 館外実習(九州大学総合博物館)	13:00 館外移動	13:00 企画展作業⑦	12:30 企画展作業⑪	13:00 ワークショップ後処理
	13:40	13:40	13:40	13:40	13:40	13:40
	13:55 企画展作業②	13:55 館外実習(九産大美術館)	13:55 館外実習(観世音寺宝物館)	13:55 企画展作業⑧	13:55 企画展作業⑫	13:55 オリエンテーション
	14:25	14:25	14:25	14:25	14:25	14:25
	14:30 企画展作業③	14:30 館外実習(九産大美術館)	14:30 館外実習(観世音寺宝物館)	14:30 企画展作業⑨	15:30 企画展作業⑬	14:30 オリエンテーション
	17:30	17:30	17:30	17:30	17:30	17:30
	17:35 企画展作業④	17:35 館外実習(九産大美術館)	17:35 館外実習(観世音寺宝物館)	17:35 中間報告	17:35 企画展作業⑭	17:35 実習日誌
	18:00 実習日誌	18:00 実習日誌	18:00 実習日誌	18:00 実習日誌	18:00 実習日誌	18:00 実習日誌
18:20	18:20	18:20	18:20	18:20	18:20	

① 8月26日(月)は言語教育センター4階博物館研究室に集合すること。基本的に博物館研究室で実施する。

② 実習のなかで企画展を起案し、その成果を大学博物館館内で展示する。

③ 原則として欠席は認めないが、やむを得ない事情があれば考慮する。但し、8/28・9/3は必ず参加すること。

特別展企画書

氏名 福田 勲

- 〈タイトル〉「日本の弓ーその歴史と魅力」
 〈会 期〉12月1日～2月11日
 建国記念日とあわせる
 〈入 場 料〉大人1000円 子ども500円
 〈主 催〉西南学院大学博物館
 〈共 催〉高松平家物語歴史館、国際武道大学、
 国際日本文化研究センター
 〈後 援〉都城市、大田原市、全日本弓道連盟
 〈協 力〉西南学院大学体育会、西南学院大学弓道部、
 アーチェリー部

〈開催概要〉世界中で古の者から狩猟や武器として用いられてきた弓。その中でも日本の弓は、世界の弓と比較して弓自体の大きさ、弓を持つ位置などが違い、独自の形状を持って発展してきた。また、武器として以外にも正月の縁起物として授与される破魔弓などがあり、『日本書紀』や『古事記』などでも弓には何か神妙な力があるとして度々登場している。このような「弓」を起源とした祭りや神事は各地に残っている。

このように「弓」というものは弓道をしていない人にとっても日本人にとっては緑の深いものであるといえる。

そのような日本文化に根付いた「弓」の歴史と果たしてきた役割などについて多くの人に知ってもらいたい。

目的：「弓」が歴史的にどんな役割を担っており、どのような影響をもたらしてきたのかを学んでもらいたい。

意義：日本の「弓」の歴史・役割について学ぶことによって、現在の弓道までどのような繋がりを持っているかを学ぶことができる。

〈代表的な資料〉

- ・弓筈状鹿角製品（豊中市、国指定文化財）
- ・梓弓（東京国立博物館）
- ・日置流弓術免状（玉川大学教育博物館）
- ・源平合戦図屏風（神戸市立博物館）
- ・屋島合戦図（神戸市立博物館）
- ・蒙古襲来絵詞（九州大学附属図書館蔵）
- ・『平家物語』古代の弓の復元模型（国際日本文化研究センター）
- ・現代の弓道具：弓・矢・かけ・袴・道着具等
- ・西南学院大学弓道部のトロフィー

〈章 設 定〉

- 第1章：日本における弓の歴史と役割
 第2章：弓の名手那須与一と戦場における弓
 第3章：近代から現代の弓 人を殺める道具から人の心を鍛える道具へ

〈教育プログラム〉

「弓道とアーチェリーどう違うの？」
 西南学院大学の現役の弓道部員とアーチェリー部の部員のみなさんがその違いについて説明してくれます！実際に弓を引くことで体験できます！
 対象：弓道をしている人に限らず、歴史に興味のある人を中心に全年齢の方に幅広く

特別展企画書

氏名 木村マリカ

- 〈タイトル〉「ヴィクトリア朝の英国レディ」
 〈会 期〉11月2日～12月11日
 〈入 場 料〉大人：1000円、小人：800円
 〈主 催〉西南学院大学博物館
 〈後 援〉イギリス観光協会、イギリス博物館協会、
 歴史民族博物館復興協会

〈開催概要〉「レディ」とはもともと貴族の夫人や令嬢をさす言葉だったがヴィクトリア朝時代（1831～1901）からは、生まれよりも振る舞いや感性が重視され、日々の生活様式において品のある女性に用いられるようになった。そのため、中流階級の女性たちはレディになるため努力するようになった。この時代の中流階級の女性がレディであるには賢婦人であること、「家庭の天使」であることが条件だった。産業革命が起こり、物質的に豊かになり生活が急速に変化していったヴィクトリア朝時代の女性たちがどのような暮らしをしていたのかを紹介していく。

また、ヴィクトリア朝時代には乳幼児死亡率が下がり、子どもを大事に育てる風潮が強まり、子ども文化が生まれた。ヴィクトリア朝の女性や子どもたちの展示を通し、当時の人々の暮らしぶりを思い浮かべてほしい。

〈代表的な資料〉

- ・ヴィクトリア朝時代流行したドレスや帽子、アクセサリー
- ・ヴィクトリア朝のインテリア
- ・ヴィクトリア朝の子どものおもちゃ
- ・産業革命で改良された食料品、台所用品

〈章 設 定〉

- 第1章：ヴィクトリア朝の流行・ファッション
 第2章：ヴィクトリア朝レディの仕事
 第3章：ヴィクトリア朝の子どもたち

〈教育プログラム〉

- ・『英国レディの世界』著者川端有子氏による講演会
- ・イギリス伝統のお菓子、ターキッシュデライトを作ろう

特別展企画書

氏名 永尾優美香

- 〈タイトル〉「変身の魔法～化粧～」
 〈会期〉2014年3月11日～4月11日
 〈入場料〉大人：1000円、大学生：800円、
 中高生：400円、小学生以下無料
 〈主催〉西南学院大学博物館
 〈共催〉資生堂、NHK、西日本新聞、株式会社大
 洋図書、株式会社インフォレスト、角川春樹事務所、
 MITSUKOSHI、三菱電機、UNIQLO、大塚ホール
 ディングス、株式会社オンワードホールディング
 ス、清水建設、ANA、TOYOTA、MIZUHO、株
 式会社岡村製作所、九電工
 〈開催概要〉今時の女子にとって、つけまつげやアイブ
 チは化粧になくはならない存在。様々なコスメ
 ティックの誕生は、あらゆる女子のコンプレックス
 の救世主となってきた。
 そんな化粧も時代を遡れば、最初の機能はなんと
 お洒落ではなく魔除けだったという。この特別展で
 化粧の変遷を辿り、各時代における「かわいい」を
 理解するとともに、自分がかわいくなれる方法を発
 見してほしい。
 目的：日本の化粧の変遷を辿ることで、時と場合に
 応じた化粧のあり方を知る。
 意義：化粧と耳にすれば、女性だけのものかと思わ
 れがちだが、事実現代では男性も化粧を施し
 たり香水を身にまとう。そのために入館者は
 女性に限らず男性も見込めると踏んでいる。
 西南学院大学博物館は、近年特にお洒落に敏
 感な韓国人の入館を目にするので、この特別
 展において日本の文化というものをグロー
 バル世界にもアピールしたい。
 対象：お洒落に関心のあるすべての世代
 〈代表的な資料〉
 ・紅殻・花鈿・髷鈿・鉛白・軽粉・爪紅・香枕
 ・女鏡秘伝書（尚コウ？学院大学図書館）
 ・女重宝記（奈良女子大学附属図書館）
 ・女子愛敬都風俗化粧伝（早稲田大学図書館）
 ・〈暫〉東花一座顔見勢（演劇博物館）
 ・屋月左衛門 中村宗十郎・小沢刑口友房 河原
 崎三外・安田妻深雪 市川門之助・初舞たい花
 若 村山又三郎（江戸東京博物館）
 ・現在の雑誌（egg 大洋図書、小悪魔 ageha イン
 フォレスト、Popteen 角川春樹事務所）
 ・梶恵理子著『憧れの顔になれる！ 真似メイク
 BOOK』（扶桑社）
 ・八代目市川団十郎三升景清押紙（立命館大学）
 ・見返り美人図 1680年（東京国立博物館）
 〈章設定〉
 第1章：化粧の歴史
 第2章：化粧のあり方
 第3章：文化としての化粧
 第4章：現代の化粧
 〈教育プログラム〉
 ・大村美容専門学校生によるメイク講座
 ※あくまで実習カリキュラムとし、企画・実行・集
 客まですべて博物館実習生と大村の学生で行う。
 ・クマドリのぬり絵

特別展企画書

氏名 毛利 美里

- 〈タイトル〉「子どもの遊び」
 〈会期〉7月20日～9月1日
 〈入場料〉大人：400円、小人：200円、
 小学生以下無料
 〈主催〉西南学院大学博物館
 〈共催〉こどもの時代館、任天堂、タカラトミー、
 バンダイ、講談社
 〈後援〉NHK、福岡市教育委員会
 〈開催概要〉最近子どもの遊び場は、屋内が多い。それ
 も、テレビやマンガ、ゲームといった一人遊びが主
 である。昭和30年代は、戸外で、集団での遊びが主
 流であった。既存のルールがあればそれに則って遊
 び、また独自に「〇〇ごっこ」という遊びを作っ
 ていた。しかし、現代の子どもはゲームソフトなど、
 商品での遊びに興じ、放課後も一人で遊ぶというこ
 とが多くなってきている。
 また、友人たちと遊ぶにしても、それはオリジナ
 ルの「ごっこ遊び」ではなく、携帯ゲームを持ち
 寄って遊ぶなどである。最近の子どもたちは、遊び
 を工夫し、より楽しくすることを知らないのではな
 いだろうか。昭和30年代から現代の子どもの遊びの
 変化を展示し、昔の素朴な遊びを知っていただき
 たい。そして、当時こうして遊んだという方々にも、
 なつかしさを覚えていただきたい。
 〈代表的な資料〉
 ・昭和30年代から現代までの玩具
 〈章設定〉
 ・第1章：1960年代～70年代の遊び
 ・第2章：1980年代～90年代の遊び
 ・第3章：現代の遊び
 〈教育プログラム〉
 ・玩具手作り体験、昔遊び体験

特別展企画書

氏名 山下 和香

〈タイトル〉「ピアトリクス・ポターの子どもたち」

〈会 期〉春・5月末～（1ヶ月）

〈入 場 料〉500円

〈主 催〉西南学院大学博物館

〈共 催〉大東文化大学、聖徳大学

〈協 賛〉福音館書店、
YUFUIN FLORAL VILLAGE

〈後 援〉福岡市教育委員会、
日本ナショナルトラスト

〈開催概要〉世界で一番有名なうさぎ「ピーターラビット」。彼の物語は、著者ピアトリクス・ポターが、病気の子どもへ絵手紙を送ったことがきっかけとなった。この出来事から120年経った今、著者の人生を振り返り、彼女の残した「子どもたち」について見直したい。

資料は手紙、原画、初版本などの「ポターの著書」。物語の舞台となった湖水地方の自然を保護する「ナショナルトラスト」の資料、模型。そして、後のアーティストが製作した食器やぬいぐるみ、おもちゃの主に3種類となる。

この展示会を開催するにあたって、国内で「ピーターラビット」の資料を保存している大東文化大学「ピアトリクス・ポター資料館」、聖徳大学の「聖徳大学博物館」からお借りする。各大学の親交・連携を強めるとともに、九州の方々にもピアトリクス・ポターの世界をお伝えしたい。

〈代表的な資料〉

- ・初版（自費出版、各国のもの）
- ・ニア・ソーリー村の模型
- ・デッサン、カラーイラスト
- ・ぬいぐるみ、食器など

〈章 設 定〉

第1章：ポターさんちの動物たち

第2章：ポターさんちの大自然

第3章：ポターさんの後継者たち

〈教育プログラム〉

- ・関連講演会 大東文化大学教授河野芳英氏
- ・ワークショップ 絵手紙を送ろう

特別展企画書

氏名 ファリナ・ファブリツイウス

〈タイトル〉「猫の浮世絵（歌川国芳）」

〈会 期〉9月28日～12月13日

〈入 場 料〉大人：1000円、大学生：700円、
小人：500円、小学生以下無料

〈主 催〉西南学院大学博物館

〈共 催〉（浮世絵）太田記念美術館

〈開催概要〉歌川国芳（1793～1861年）は江戸の浮世絵師でした。歌川国芳は猫が大好きだったので猫の浮世絵を多く描きました。

〈代表的な資料〉

歌川国芳が描いた猫の浮世絵

1. 時世粧菊揃こどもがあるかときく
2. 妙でんす十六利勘降那損者
3. 女三宮
4. 賢女烈婦伝大納言行成女
5. 園中八せん花菊
6. 猫と遊ぶ娘
7. 其まゝ地口猫飼好五三疋

〈章 設 定〉

- ・歌川国芳の世渡り（猫を中心に）
- ・猫の浮世絵について解説

特別展企画書

氏名 山尾 彩香

〈タイトル〉「白の境界ーあなたの白は何色ですかー」
 〈会 期〉7月15日～9月7日
 〈入 場 料〉大人：500円、学生：300円、小学生以下無料
 ※会期中、何度でも入場可
 〈主 催〉西南学院大学博物館
 〈共 催〉いのちのたび博物館、はかた伝統工芸館、
 福岡市立美術館、福岡アジア美術館、
 ロボスクエアほか
 〈後 援〉福岡県観光連盟、西日本新聞、
 富士ソフト株式会社
 〈開催概要〉白とはどんな色なのだろうか。純粋な白色
 (※理想的な白)をもつ物体はないとされる中で、人
 は何色の白を本当の白だと感じるのだろうか。各分
 野(歴史、芸術、民族、産業、自然科学等)におい
 て「白」を追求した資料の各1点ずつのみを一挙に
 展示することで、入館者にその表情(色合い)の違
 いを実感させるとともに、入館者の興味の在りどこ
 ろを探るきっかけをつくり、各分野の博物館への関
 心を促す足がかりとなることを目指す。また「白」
 を題材とした作品の一般公募を募り、優秀な作品を
 展示する。キャプション等の文字も白浮き文字で照
 明の陰影の具合で読めるものにし、必要最低限の作
 品情報しかのせない。展示ケース、ガラスも使用し
 ない。また、会場内のある地点に立つと、影がすべ
 て消え、壁と作品の白色のみしか見えないという効
 果をもたせる。

〈代表的な資料〉

- ・展示作品は全部で7点のみ→会期中、一定期間で
 作品を入れ替える
- ・福岡県内の施設から借用
- ・各施設にお願い(依頼)→ひとりの学芸員の価値
 観(白色)にかたよらない多種多様な白が集まる
 のではないか。

「白」の作品(資料)

展示スペースに収まるサイズ

展示ケースなしでもOK(資料の安全性に問題が
 あると判断した場合はNG)

→実現困難だが、もし実現できたなら、次回以降
 もある「テーマ」をもとに各施設のとおきの1
 点を展示する企画展のシリーズ化がはかれる。

「博多織 白無垢」(はかた伝統工芸館)

「PALRO(パルロ)/富士ソフト株式会社」(ロボス
 クエア)

〈章 設 定〉

第1章：はじまりの白→福岡のアーティストに卵
 型のオブジェ(アート)を依頼①

第2章：自然の白(自然史)→蚕玉/いのちの旅博

物館②

第3章：いにしへの白(歴史、民俗)→白無垢(博
 多織)1600×1500×200mm/はかた伝統工
 芸館③

第4章：あーとの白(芸術)→「白」の絵画530×
 455/福岡県立美術館④

第5章：ふしぎな白(現代アート)→オブジェ/福
 岡アジア美術館⑤

第6章：つくられた白(産業)→『PALRO(パル
 ロ)』H400×W180×120mm/富士ソフト株
 式会社/ロボスクエア⑥

第7章：あなたの白(一般公募作品)⑦

〈教育プログラム〉

- ・キッズコーナーの併設

「身の回りのものをしろうしたらどうなるの？」
 というコンセプトのもと、白くないものを白くし
 たものを設置。

(例) 白い本、白い信号(写真)

- ・こどもワークショップ

白くなった周りのものを自分の好きな色や模様
 にする。後日作品を展示。展示会場の白壁にお絵
 かき。後日、公開。

会期中の来館者数

	2013年度
9月10日	77
9月11日	10
9月12日	3
9月13日	8
9月14日	36
9月15日	0
9月16日	101
9月17日	8
9月18日	205
9月19日	46
9月20日	4
9月21日	23
9月22日	0
9月23日	52
9月24日	5
9月25日	43
9月26日	210
9月27日	4
9月28日	63
合計	898

博物館実習成果展V

「ウミガメ探検隊 海の玉手箱展」 実施報告

2013年度博物館実習生は6名を受け入れた。本年度も船の科学館から巡回展キッドを借用し、ストーリーと章、展示空間を組み立てていった。これまでの基礎実習を経て実際にひとつのテーマを決め、展示会を作り上げる実習であった。

展示ケースのむき出しになっていた木の足を模造紙やセロハンなどで目隠しし、海の生き物のイラストなどを用いて、展示空間を飾った。

資料は遊びの要素が多いものであったため親子づれの来館者が増え、子供と大人が楽しんで見学した様子であった。また、実習期間に「せいなんこどもワークショップ」を開催し、展示への説明を実習生自身が行った。自ら組み立てた展示を子供たちに説明し、実習生自身と子供たち相互に展示の理解を深めた。

企画立案や展示構成、展示解説の作成、ワークショップの実施などといった一連の展示事業を主体的に取り組み、博物館学芸員の実務の理解が深まる成果展であった。



【展示作業の様子】



【会場風景】



2013年度 せいなんこどもワークショップ概要

2013年度は計5回のこどもワークショップを開催。地域の小学生を中心に総勢100名以上のこどもたちが参加し、西南学院大学生のボランティアたちの協力のもと、博物館への興味関心づくりに取り組んだ。

第一回 5月18日(土) せいなんウォークラリー

博物館のみならず大学の魅力にも興味をもってもらえるよう、大学のキャンパスや博物館を実際に歩いて、大学や博物館にまつわるクイズを解いて回った。こどもたちは大学生のボランティアとともに敷地内を楽しそうに探検していた。



第二回 7月20日(土) 万華鏡をつくろう

特別展示「平戸松浦家の名宝と禁教政策」および常設展示をよく観察してもらうため、万華鏡のシートに展示品のスケッチをしてもらった。万華鏡という実例を通して、海の向こうの諸外国の文化が如何にして日本に受容されたかを体験してもらった。



第三回 9月7日(土) カリグラフィーをかこう

学芸員過程の実習生によるこども向けの企画展示を通して、こどもたちに博物館への興味を持たせると共に、実習生にとっても学芸員の役割を理解してもらう手助けとなった。また、ローマ字で自分の名前を書いた本を作成することで、こどもたちには常設展示してある写本や外国語などへの興味関心を促した。



第四回 11月9日(土) 大学博物館まるごとツアー

大学博物館と聖書植物園に設置したスタンプを集めてもらいながら展示品や植物をじっくり観察してもらうことにより、西南およびキリスト教についての知識を深めてもらった。グループでの行動は、普段接しない他学年や他学校の参加者たちとコミュニケーションづくりに役立った。



第五回 3月8日(土) イースターエッグをつくろう

キリスト教の祭りのなかでも重要なイースターについて知り、祭りの一端にふれてもらった。こどもたちは、オリジナルのイースターエッグを一生懸命デザインしていた。



2013年度博物館教職員活動記録

宮崎克則 (本学博物館長・国際文化学部教授)

【著書】

- ・『シーボルト年表―生涯とその業績―』(石山禎一と共著)(八坂書房、2014年1月)

【論文】

- ・「西南学院大学博物館寄託「松澤善裕氏所蔵文書」に見る鯨組と地域漁業の軋轢―平戸藩生月島の「御先大納屋」から大島(的山大島)への書状―」(森弘子と共著)(『西南学院大学博物館研究紀要』第2号、2014年3月)
- ・「ケンペル『日本誌』にある茶の伝説」(水城満里世と共著)(西南学院大学『国際文化論集』28-2号、2014年3月)
- ・「「出島絵師」川原慶賀による《人の一生》の制作」(野藤妙と共著)(九州大学総合研究博物館「九州大学総合研究博物館研究報告」12号、2014年3月)
- ・「唐津藩小川島の捕鯨史料[1]―文政～天保頃「鯨組方一件」―」(森弘子と共著)(西南学院大学『国際文化論集』28-2号、2014年3月)

【資料紹介】

- ・「松澤善裕氏所蔵文書目録」(安高啓明、森弘子と共著)(西南学院大学『西南学院大学博物館研究紀要』2号、2014年3月)

安高啓明 (本学博物館学芸員)

【論文】

- ・「松浦静山と踏絵観」(『平戸松浦家の名宝と禁教政策―投影された大航海時代とその果てに』西南学院大学博物館、2013年6月)
- ・「浦上四番崩れにみる宗教観」(『日本信仰の源流とキリスト教―受容と展開、そして教育』西南学院大学博物館、2013年10月)
- ・「久留米藩今村の潜伏キリシタンの発覚と信仰生活」(方圓と共著)(『西南学院大学博物館研究紀要』第2号、2014年3月)
- ・「「犯科帳」―長崎奉行の法概念―」(若木太一編「長崎・東西文化交渉史の舞台 下巻―明・清時代の長崎/支配の構図と文化の諸相―」、勉誠出版、2013年9月)

【資料紹介】

- ・資料紹介「西南学院大学博物館所蔵「宗門御改影踏帳」(2)」(稲益あゆみと共著)(『西南学院大学博物館研究紀要』第2号、2014年3月)
- ・「松澤善裕氏所蔵文書目録」(宮崎克則、森弘子と共著)(西南学院大学『西南学院大学博物館研究紀要』2号、2014年3月)

稲益あゆみ (博物館臨時職員・本学大学院国際文化研究科博士後期課程)

【論文】

- ・「高杉晋作顕彰碑とその背景」(山口県地方史学会『山口県地方史研究』第110号、2013年10月)
- ・「伊藤博文の維新観と高杉晋作顕彰碑」(西南学院大学大学院『国際文化研究論集』第8号、2014年1月)
- ・「高杉晋作伝形成過程の概観」(『西南学院大学博物館研究紀要』第2号、2014年3月)

【資料紹介】

- ・資料紹介「西南学院大学博物館所蔵「宗門御改影踏帳」(2)」(安高啓明と共著)(『西南学院大学博物館研究紀要』第2号、2014年3月)

吉松由希 (博物館臨時職員・本学大学院国際文化研究科博士前期課程)

【研究助成】

- ・本学大学院国際文化研究科2013年度「先進研究奨励」費(研究課題「売薬業と藩政治―田代売薬と富山売薬の比較から―」)

内島美奈子 (博物館臨時職員・本学大学院国際文化研究科博士前期過程)

【論文】

- ・「ピエロ・デッラ・フランチェスカ作《キリストの洗礼》の一解釈―15世紀のサンセポルクロにおける「再生」の表象―」(『西南学院大学博物館研究紀要』第2号、2014年3月)

【研究助成】

- ・本学大学院国際文化研究科2013年度「先進研究奨励」費(研究課題「サンセポルクロとキリストの復活図像」)

方圓 (博物館臨時職員・本学大学院国際文化研究科博士前期過程)

【論文】

- ・「久留米藩今村の潜伏キリシタンの発覚と信仰生活」(安高啓明と共著)(『西南学院大学博物館研究紀要』第2号、2014年3月)

【研究助成】

- ・本学大学院国際文化研究科2013年度「先進研究奨励」費(研究課題「日本と中国におけるキリシタン禁制の比較研究」)

博物館刊行物・成果物

春季特別展図録

A4版
51頁
3,000部発行
発刊日
2013年6月8日



目次
ごあいさつ
西南学院大学博物館 館長 宮崎 克則…………… 2

開催概要…………… 3
目次・凡例…………… 4

本編
I. 大航海時代と港市平戸…………… 5
II. 松浦家の名宝と異国趣味……………12
III. 禁教とその展開……………27
IV. 平戸の海外交流……………37

寄稿 平戸松浦家の歴史と伝来する資料
公益財団法人松浦史料博物館 学芸員 久家 孝史 ……43
松浦静山と踏絵観
西南学院大学博物館 学芸員 安高 啓明 ……47

出品目録……………51

西南学院大学 博物館年報 第5号

A4版
47頁
1,000部発行
発刊日
2013年9月30日
ISSN 1884-8885



目次
巻頭言…………… 3
2012年度事業報告
1. 展示活動
春季特別展「大学博物館共同企画シリーズII 閉ざされた島 開かれた海
—鎮国の中の日本」実施報告…………… 5
秋季特別展「キリシタン考古学の世界—今日に甦る祈りと叫び」……………10
企画展 シーボルト「日本」に描かれた考古・民俗資料 実施報告……………15
企画展 古写真でみる西南学院大学 part 2 実施報告……………16

2. 教育活動
博物館実習……………17
博物館実習成果展「ギョギョギョ 西南☆海ステリー博」 実施報告……………24
2012年度 せいなんこともワークショップ概要……………25
2012年度 博物館教職員活動記録……………26
博物館刊行物・成果物……………27
博物館講堂使用状況……………31

3. 調査研究
教育IP概要……………32
学内GP調査実績……………33

4. 来館者動向
来館者統計……………36
特別展期間中来館者動向……………37
来館団体一覧……………42

5. その他
2012年度 寄贈・購入図書一覧……………44
西南学院大学博物館組織……………47

秋季特別展図録

A4版
63頁
3,000部発行
発刊日
2013年11月1日



目次
ごあいさつ
西南学院大学博物館 館長 高倉 洋彰…………… 2
國學院大学博物館 館長 吉田 恵二…………… 3
開催概要…………… 4
目次・凡例…………… 5

本編
I. 日本宗教の特質…………… 6
i) 原始信仰の姿
ii) 神道と神仏習合
II. キリスト教の伝来…………… 18
i) アジア圏へ広がるキリスト教
ii) キリシタンの信仰
iii) 禁教の時代
III. 近代国家と宗教政策…………… 38
i) キリスト教解禁に向けて
ii) 宗教政策と宗教教育

寄稿 「神道」の成立と外来文化
國學院大学 深澤 太郎…………… 53
浦上四番崩れにみる宗教観
西南学院大学博物館 学芸員 安高 啓明…………… 57
出品目録・特別展開連イベント…………… 61

西南学院大学 博物館研究紀要

A4版
100頁
1,000部発行
発刊日
2014年3月31日



一 論文 —
西南学院大学博物館寄託「松澤義裕氏所蔵文書」に見る鯨組と地域漁業の軋轢
—平戸藩生月島の「御崎大納屋」から大島（的山大島）への書状— 森 弘子 …… 2
宮崎 克則
久留米藩今村の潜伏キリシタンの発覚と信仰生活 安高 啓明 …… 15
方 圓
ビエロ・デッラ・フランチェスカ作《キリストの洗礼》の一解釈
—15世紀のサンセイポルクロにおける「再生」の表象— 内島美奈子 …… 25
高杉晋作伝形成過程の概観 稲益あゆみ …… 37

— 資料目録 —
松澤義裕氏所蔵文書目録 森 弘子 …… 49
宮崎 克則
安高 啓明

— 資料紹介 —
西南学院大学博物館所蔵「宗門御改影踏帳」 安高 啓明 …… 101 (6)
稲益あゆみ

博物館ニュース Volume.15

【2,000部発行 発刊日2013年6月】

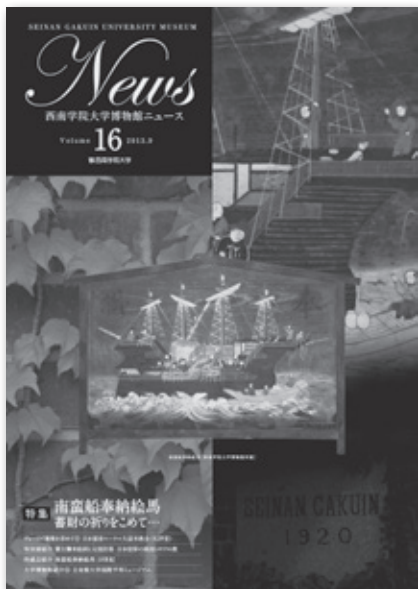


Volume.15
 特集：日用品にもこだわる近世人… 紅毛人硯屏 19世紀
 ヴォーリズ建築を求めて④ 神戸女学院（講堂）
 特別展紹介：平戸松浦家の名宝と禁教政策 ―投影された大航海時代とその果てに―
 所蔵品紹介：日用品にもこだわる近世人… 紅毛人硯屏 19世紀
 大学博物館紹介④：お茶の水女子大学歴史資料館



博物館ニュース Volume.16

【2,000部発行 発刊日2013年9月】

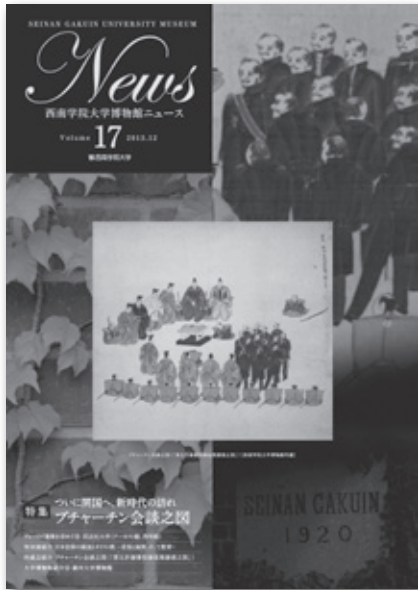


Volume.16
 特集：南蛮船奉納絵馬 著財の祈りをこめて…
 ヴォーリズ建築を求めて⑤ 日本福音ルーテル久留米教会（礼拝堂）
 特別展紹介：蒙古襲来絵詞と元寇防塁 日本信仰の源流とキリスト教
 所蔵品紹介：南蛮船奉納絵馬 19世紀
 大学博物館紹介⑤：立命館大学国際平和ミュージアム



博物館ニュース Volume.17

【2,000部発行 発刊日2013年12月】



Volume.17
 特集：ついに開国へ、新時代の訪れ プチャーチン会談之図
 ヴォーリズ建築を求めて⑩ 同志社大学（アモスト館、啓明館）
 特別展紹介：日本信仰の源流とキリスト教 -受容と展開、そして教育-
 所蔵品紹介：プチャーチン会談之図（「第五於御書院御返箱御渡之図」）
 大学博物館紹介⑩：蘇州大学博物館

博物館ニュース Volume.18

【2,000部発行 発刊日2014年3月】



Volume.18
 特集：描かれた会談 プチャーチン会談之図
 ヴォーリズ建築を求めて⑪ 西南女学院中学校・高等学校 ロウ講堂
 特別展紹介：日本に蒔かれた一粒の麦 -西南学院の100年-
 所蔵品紹介：プチャーチン会談之図（「第六於御書院拝領物御渡之図」）
 大学博物館紹介⑪：上海中薬薬大学博物館

博物館講堂使用状況 (2013年度)

期日	使用時間	使用団体(者)	集会名称	人数
4月3日(水)	10:00~17:00	西南学院大学 神学部	神学部始業チャペル	55名
4月8日(月)	9:30~10:30	西南学院史	講義(施設見学)	600名
4月17日(水)	15:10~16:40	新任職員研修	新任職員研修	7名
4月24日(水)	15:00~18:00	チャペルクワイヤ	練習	27名
5月6日(月)	10:00~14:30	キャンパスサポート西南	ブライダル	50名
5月8日(水)	15:00~18:00	チャペルクワイヤ	練習	27名
5月8日(水)	8:50~15:20	西南学院中学校	聖書科授業	120名
5月10日(金)	9:50~11:40	西南学院中学校	聖書科授業	80名
5月18日(土)	9:00~12:00	西南学院大学博物館	こどもワークショップ	20名
5月25日(土)	13:00~17:00	キャンパスサポート西南	ブライダル	50名
5月29日(水)	15:00~18:00	チャペルクワイヤ	練習	20名
6月1日(土)	14:00~17:00	西南学院大学 総務課	西南学院学院徒出陣戦没者追悼記念会	220名
6月5日(水)	15:00~18:00	チャペルクワイヤ	練習	23名
6月8日(土)	13:30~17:30	福岡デンマーク協会	福岡デンマーク協会総会	46名
6月14日(金)	13:00~14:30	西南学院大学 神学部	学術講演会	60名
6月19日(水)	15:00~18:00	チャペルクワイヤ	練習	24名
6月22日(土)	14:00~17:00	西南プリエール	西南プリエール女声コーラスのコンサートリハーサル	30名
7月6日(土)	14:00~16:00	西南学院大学博物館	特別展講演会	120名
7月20日(土)	9:00~12:00	西南学院大学博物館	こどもワークショップ	50名
9月7日(土)	9:00~12:00	西南学院大学博物館	こどもワークショップ	40名
9月10日(火)	16:00~18:00	日本基督教会	日本基督教会	60名
9月16日(月)	10:00~14:00	キャンパスサポート西南	ブライダル	95名
9月21日(土)	13:00~18:00	宙の木(音楽団体)	演奏会リハーサル	20名
9月25日(水)	17:00~18:00	チャペルクワイヤ	練習	20名
9月28日(土)	10:00~18:00	宙の木(音楽団体)	演奏会	59名
10月5日(土)	10:30~14:30	キャンパスサポート西南	ブライダル	100名
10月9日(水)	17:00~18:00	チャペルクワイヤ	練習	20名
10月23日(水)	16:30~18:00	チャペルクワイヤ	練習	20名
10月26日(土)	14:00~16:00	西南プリエール	練習	7名
10月26日(土)	17:00~18:00	卒業生	ブライダル写真撮影	6名
10月30日(水)	16:30~18:00	チャペルクワイヤ	練習	20名
11月1日(金)	11:00~12:00	西南学院小学校	サンクスビギニングチャペル	20名
11月9日(土)	9:00~12:00	西南学院大学博物館	こどもワークショップ	18名
11月13日(水)	16:30~18:00	チャペルクワイヤ	練習	20名
11月29日(金)	16:00~18:00	福岡バツハコレギウム	演奏会リハーサル	30名
11月30日(土)	18:00~21:00	福岡バツハコレギウム	演奏会リハーサル	30名
12月1日(日)	13:30~18:30	福岡バツハコレギウム	定期演奏会	250名
12月6日(金)	13:00~15:00	卒業生	ブライダル写真撮影	5名
12月7日(土)	14:00~17:00	西南学院大学博物館	特別展関連公開講演会	85名
12月20日(金)	16:30~18:00	西南学院大学 国際センター	留学生別科終了式	60名
12月23日(月)	13:00~15:00	あおぞらビヨビヨ合唱団	コンサート	110名
1月10日(金)	13:00~14:30	高倉先生退任記念事業西南学院実行委員会	高倉洋彰先生ご退任記念最終講義	100名
2月22日(土)	11:30~18:00	西南学院100周年事業推進室	コンサート	70名
3月8日(土)	14:30~16:30	西南プリエール	合唱練習	8名
3月19日(水)	13:30~15:00	西南学院大学 神学部	卒業礼拝	200名
3月29日(土)	13:00~17:00	プランニングOGATA	コンサート	120名
毎週月曜日	11:00~12:00	西南学院大学 神学部	神学部チャペル	—
毎週水曜日	15:00~18:00	チャペルクワイヤ	練習	—

3. 調査・研究

教育IP調査状況

教育IPの助成を得て、「実践力のある博物館職業人の育成事業」の全国博物館の調査（施設見学・ヒアリング）をおこなった。本調査は、地方公共団体や財団、民間が運営する博物館・美術館を訪れ、各博物館が大学・大学博物館に望む学芸員養成のあり方を調査し、大学と現場の博物館とのギャップを把握し、解消するために独自のプログラムを策定し養成に取り入れる意図を持つ。また、最近の博物館の展示手法や教育プログラムなども調査し、本学博物館に反映できるものについては取り入れる仕組み作りをおこなっていく事業である。2013年度に調査をおこなった博物館については下記の通りである。

2013年度調査実績

5月14日(火)

国立西洋美術館

三菱一号館美術館

パナソニック汐留ミュージアム

調査員：出口智佳子

出光美術館

たばこと塩の博物館

山種美術館

調査員：野藤妙

7月20日(土)

江戸東京博物館

調査員：内島美奈子・下園知弥

7月21日(日)

東京国立近代美術館

東京都美術館

調査員：内島美奈子

町田市国際版画美術館

ブリジストン美術館

調査員：下園知弥

7月22日(月)

サントリー美術館

調査員：内島美奈子

森美術館

調査員：内島美奈子・下園知弥

11月13日(水)

八代市立博物館 未来の森ミュージアム

調査員：謝婧・方圓・下園知弥

11月14日(木)

熊本市立現代美術館

調査員：内島美奈子・下園知弥

11月15日(金)

熊本県立美術館

調査員：内島美奈子・謝婧・方圓・下園知弥

12月25日(水)

アド・ミュージアム東京

調査員：出口智佳子

2014年1月25日(土)

目黒区美術館

調査員：内島美奈子

目黒寄生虫館

日本近代文学館

調査員：下園知弥

東京都美術館写真美術館

調査員：出口智佳子

1月26日(日)

古代オリエント博物館

調査員：内島美奈子・下園知弥

東京国立博物館

調査員：内島美奈子

東京ステーションギャラリー

調査員：出口智佳子

1月28日(火)

佐野常民記念館

佐賀県立博物館・美術館

調査員：内島美奈子・下園知弥・出口智佳子

1月29日(水)

佐賀城本丸歴史館

調査員：内島美奈子・下園知弥・出口智佳子

3月3日(月)

島原城

調査員：内島美奈子・出口智佳子

3月4日(火)

原城跡

西望記念館

調査員：内島美奈子・出口智佳子

3月6日(木)

沖縄県立博物館・美術館

沖縄郵政資料センター

調査員：謝婧・出口智佳子

那覇市伝統工芸館

那覇市立壺屋焼物博物館

調査員：方圓・下園知弥

3月7日(金)

浦添市美術館

うるま市立海の文化資料館

調査員：謝婧・方圓・下園知弥・出口智佳子

3月8日(土)

沖縄県平和祈念資料館

沖縄平和祈念堂美術館

ひめゆり平和祈念資料館

調査員：下園知弥・出口智佳子

学内GP調査状況

2013年度は国内および国外の大学博物館の調査（ヒアリング・施設見学）をおこなった。国外では中国の大学博物館を調査し、博物館学や学芸制度のあり方、学生と大学博物館との関係などを含めてヒアリングを行った。2013年度に調査をおこなった大学博物館については下記の通りである。

2013年度調査実績

5月13日(月)

お茶の水女子大学歴史資料館

お茶の水女子大学歴史資料室（桜陰会館）

大東文化大学大東文化歴史資料館

調査員：安高啓明・貞清世里・方圓・

出口智佳子・野藤妙

6月18日(火)

大阪経済大学黒正展示室（50周年館）

調査員：安高啓明

6月19日(水)

帝塚山大学附属博物館

奈良女子大学記念館

調査員：安高啓明

6月20日(木)

近畿大学不倒館（世耕弘一記念室）

調査員：安高啓明

7月10日(水)

東京家政大学博物館

調査員：安高啓明

7月22日(月)

杉野学園服飾博物館

調査員：安高啓明

7月29日(月)

梅光学院大学博物館

調査員：安高啓明

7月31日(水)

日本大学生物資源科学部博物館

調査員：安高啓明

8月17日(土)

復旦大学博物館

復旦大学校史館

上海交通大学銭学森図書館

上海交通大学董浩航運博物館

調査員：安高啓明・謝婧・方圓・

出口智佳子・磯谷歩

8月19日(月)

浙江省中醫大学博物館

中国美術学院皮影数字美術館

調査員：安高啓明・謝婧・方圓・

出口智佳子・磯谷歩

8月20日(火)

蘇州大学博物館

蘇州大学王健法学院院史展

調査員：安高啓明・謝婧・方圓・

出口智佳子・磯谷歩

8月21日(水)

中国薬科大学薬学博物館

中国薬科大学校史陳列館

調査員：安高啓明・謝婧・方圓・
出口智佳子・磯谷歩

8月23日(金)

上海中醫薬大学博物館

上海中醫薬大学百草園

調査員：安高啓明・謝婧・方圓・
出口智佳子・磯谷歩

9月19日(木)

鳥取大学アリドドーム実験棟

鳥取大学乾燥地学術情報展示室

鳥取大学乾燥地植物展示圃場

調査員：安高啓明

9月26日(木)

慶応義塾大学アートセンター

成蹊学園史料館

調査員：安高啓明

10月12日(土)

共立女子大学本館展示室

調査員：安高啓明

11月1日(金)

日本大学工学部校史資料室

調査員：安高啓明

11月14日(木)

熊本学園大学学園資料室

熊本学園大学産業資料館

熊本大学医学部山崎記念館

熊本大学化学実験場

熊本大学五高記念館

熊本大学生薬展示室

熊本大学薬学ミュージアム

熊本大学薬学部附属薬用フロンティアセンター

調査員：安高啓明・内島美奈子・謝婧・
方圓・下園知弥

11月15日(金)

熊本大学工学部研究資料館

調査員：安高啓明・内島美奈子・謝婧・
方圓・下園知弥

11月28日(木)

首都大学東京91年館 学芸員養成課程展示室

首都大学東京牧野標本館

調査員：安高啓明

2014年1月9日(木)

北海道大学水産資料館

北海道教育大学北方教育館・夕陽記念館

調査員：安高啓明

1月14日(火)

青山学院大学資料センター

調査員：安高啓明

1月30日(木)

佐賀大学美術館

佐賀大学地域学歴史文化研究センター

(菊楠シュライバー館)

調査員：安高啓明・内島美奈子・下園知弥・

出口智佳子

2月22日(土)

香港大学美術館

香港大学許士芬博物館

香港中文大学文物館

香港中文大学校史館

調査員：安高啓明・謝婧・方圓

2月24日(月)

中山大学生物博物館

中山大学地質鉱物博物館

中山大学東学西漸文献館

中山大学人類博物館

中山大学竹種標本園

調査員：安高啓明・謝婧・方圓

3月6日(木)

沖縄県立芸術大学付属図書・芸術資料館

調査員：謝婧・方圓・下園知弥・出口智佳子

3月7日(金)

琉球大学資料館(風樹館)

琉球大学 学校ビオトープ見本園

調査員：安高啓明・謝婧・方圓・下園知弥・

出口智佳子

3月13日(木)

北海道大学植物園

調査員：安高啓明

4. 来館者動向

来館者統計

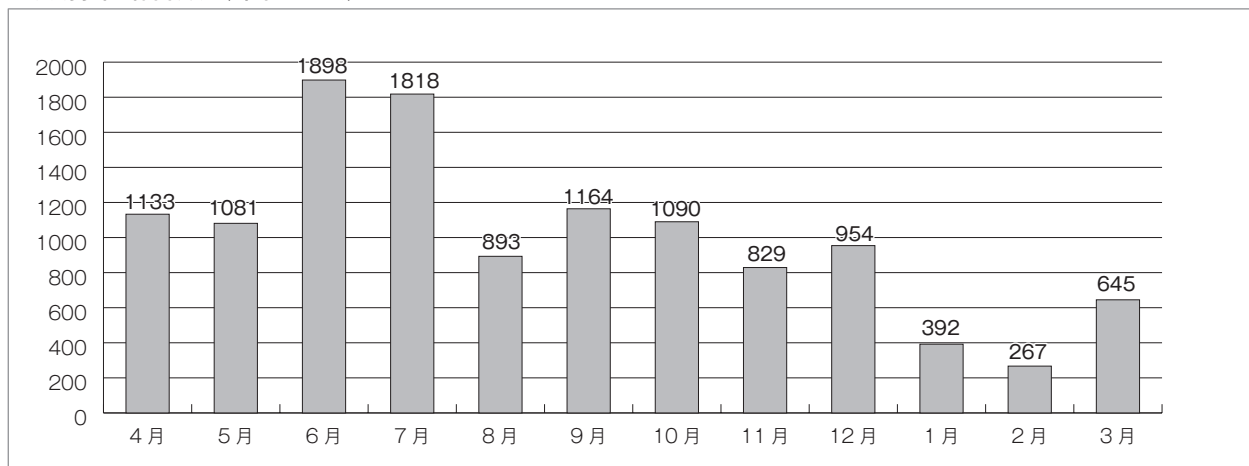
2013年度

開館以来来館者数 104,763人
 2013年度来館者数 12,164人
 2006~2012年年度来館者数 92,599人
前年度人数 14,098人 (前年度比 -13.7%)

2013年度 月別来館者統計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
開館日数	26	27	25	27	22	25	27	26	22	23	27	26	303	
学内	教職員	84	23	19	23	9	13	7	16	7	6	25	14	246
	本学学生	752	132	343	199	64	36	121	123	147	203	8	17	2145
	学内小計	836	155	362	222	73	49	128	139	154	209	33	31	2391
	学外	大人(一般)	244	460	1188	926	404	544	490	596	480	164	206	510
	他大学生	43	1	27	73	9	15	9	9	2	6	9	2	205
	高校生	4	154	266	395	371	313	456	6	147	5	6	83	2206
	中学生	0	125	41	122	18	1	1	2	0	0	1	2	313
	小学生	3	171	8	68	12	237	1	48	35	7	11	13	614
	幼児	3	15	6	12	6	5	5	29	3	1	1	4	90
	学外小計	297	926	1536	1596	820	1115	962	690	667	183	234	614	9640
男女比	海外居住者	7	50	52	199	143	6	4	29	17	62	24	20	613
	男性	121	215	249	295	221	94	111	255	153	72	85	148	2019
	女性	99	188	324	290	250	171	94	213	170	95	80	158	2132
	不明	913	678	1325	1233	422	899	885	361	631	225	102	339	8013
合計	1133	1081	1898	1818	893	1164	1090	829	954	392	267	645	12164	

月別来館者数 (単位：人)



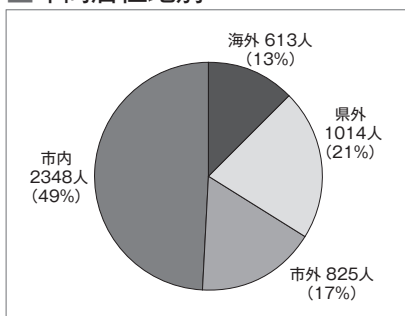
月別開館日数 (単位：日)

月	開館日数
4月	26
5月	27
6月	25
7月	27
8月	22
9月	25
10月	27
11月	26
12月	22
1月	23
2月	27
3月	26
合計	303

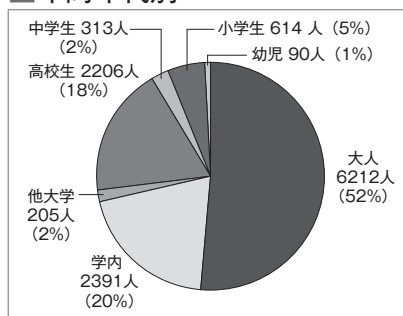
月別1日あたり平均来館者数 (単位：人)

月	平均来館者数
4月	43.6
5月	40
6月	75.9
7月	67.3
8月	40.6
9月	46.6
10月	40.4
11月	31.9
12月	43.4
1月	17
2月	9.9
3月	24.8
平均	46

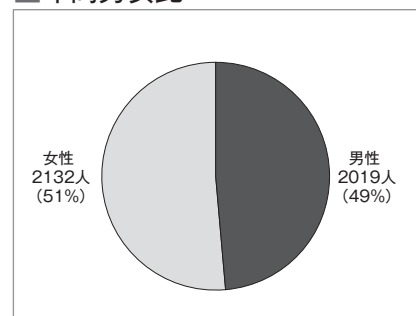
年間居住地別



年間年代別



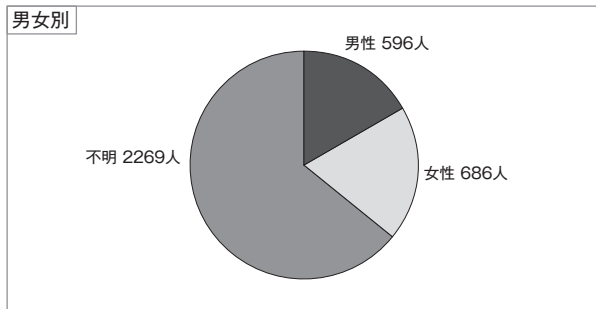
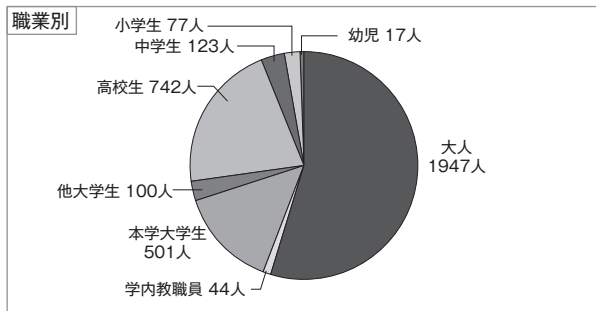
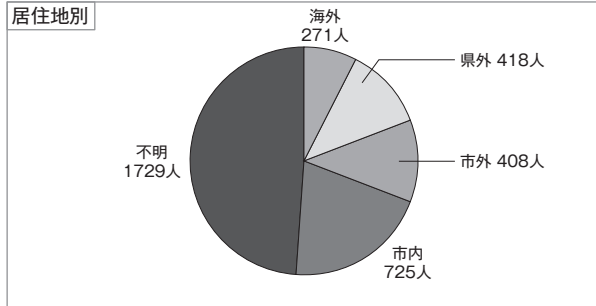
年間男女比



特別展期間中来館者動向

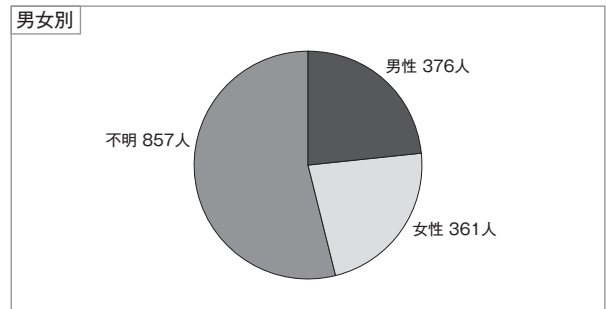
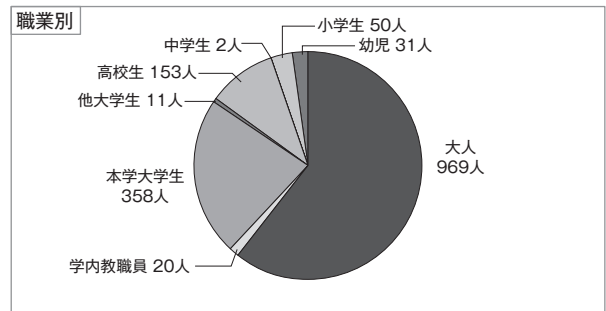
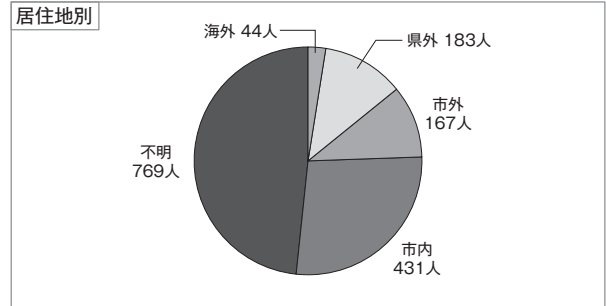
■第12回特別展

春季特別展『平戸松浦家の名宝と禁教政策
—投影された大航海時代とその果てに—』
開催期間：6月8日～8月3日
開催日数：49日 総来館者数：3551人

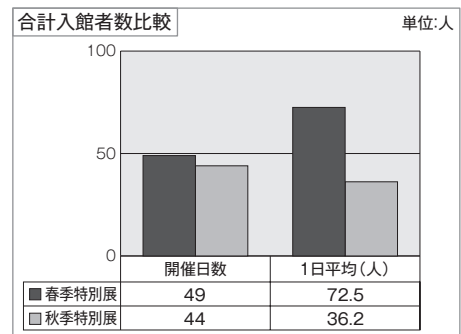
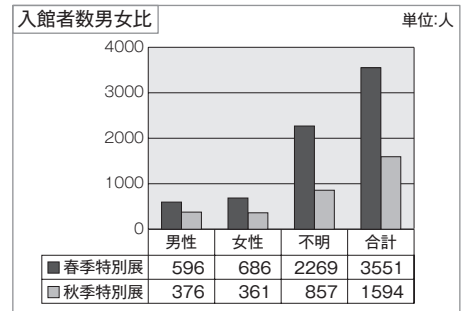
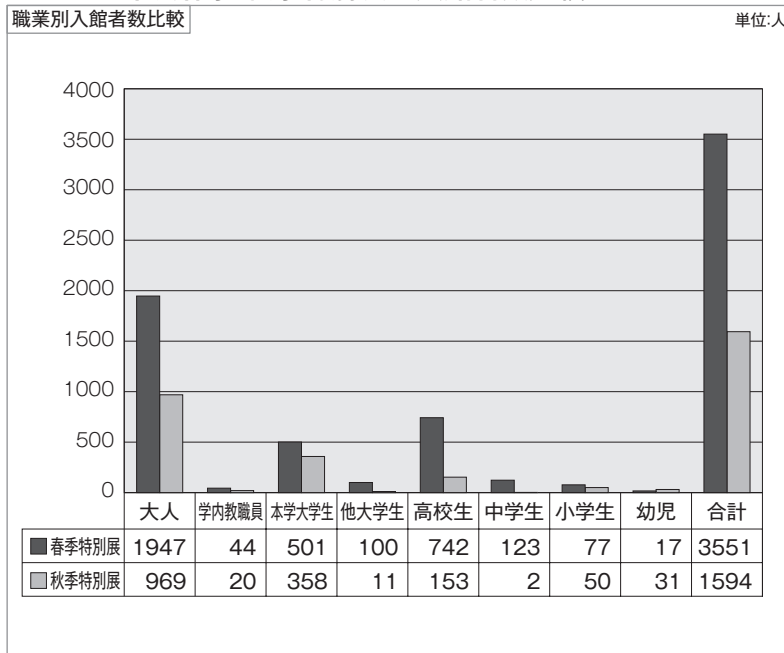


■第13回特別展

秋季特別展『日本信仰の源流とキリスト教
—受容と展開、そして教育—』
開催期間：11月1日～12月21日
開催日数：44日 来館者数：1594人

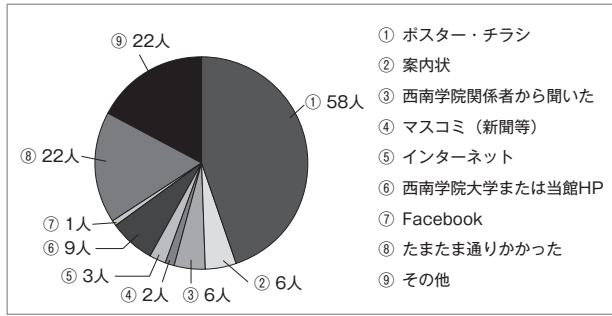


■2013年度春季・秋季特別展 入館者数比較

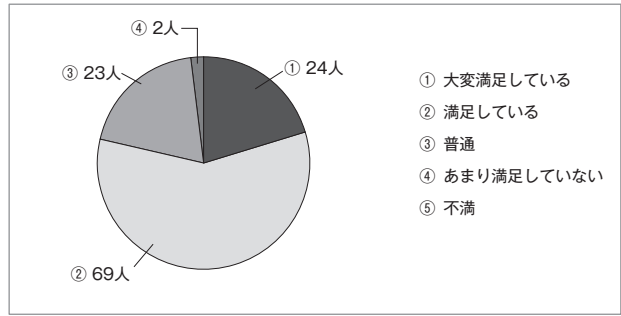


2013年度春季特別展『平戸松浦家の名宝と禁教政策—投影された大航海時代とその果てに—』アンケート集計

1. 本日の特別展をどのように知りましたか。(複数回答可)



2. 特別展の内容についてお答えください。



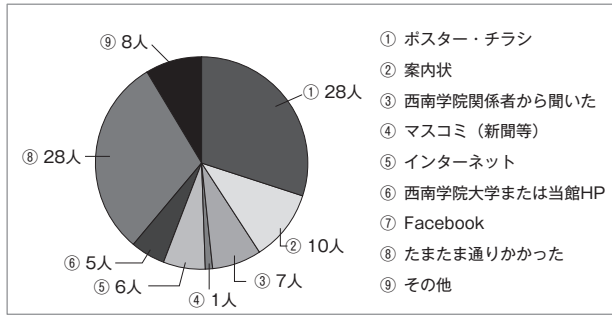
3. アンケート

年齢	性別	職業	意見・感想	興味をもった展示資料	今後希望する特別展	自由記入欄
39	女	勤労者	禁教の中にあっても学術に富んだ発想の大名だとは知らなかった。平戸は出船に隠れている感じがなかなか足が向かないが見る事が出来てよかった。じゃがたら文の内容を知りたかった。庶民の生活をうかがい知りたいと思った。	オランダで焼かれた皿、それは逆輸入された発想でしようか。有田より海外に渡った技術でまた取り寄せているところがおもしろい。	—	—
65	男	その他	—	常設展示のキリスト教制札や踏絵に興味がありました。	—	—
61	男	その他	松浦家の数々の家宝	貝の柄杓や宮本武蔵の絵、十二手箱	—	—
31	女	学生	平戸のものをもっと見れたこと。	—	—	—
20	女	学生	—	—	—	—
19	男	学生	—	常設展ではアイコンなどの絵画に興味をもちました。また、西南学院高校出身なので、OKドージャー先生の私物が見れたのはよかったです。	—	—
19	女	学生	展示品が充実していた点。	聖書の展示がどれもすごかった(常設)	日本・近世～近代キリスト教関連の展示。	—
21	女	学生	今まで実際にしたことのない物を色々みることで、年表などもあったことで理解しやすかった。	貝でつくられたくら	—	—
21	女	学生	—	馬の水やりの道具や化粧箱、らでんが美しかった。	—	—
28	女	学生	—	大名、姫、家臣など役割別の持ち物を、どういう特色があるか、など見たい。(海外との交流の中で)	—	—
21	女	学生	—	—	—	—
20	女	学生	—	西瓜皿(使い道がわからなくて気になりました)	天草四郎時貞についての展示	—
20	男	学生	—	—	—	—
19	男	学生	—	—	—	—
21	女	学生	九州に関係するキリストの歴史を一部分でも知れた。	—	—	—
27	男	勤労者	—	—	—	—
40	男	勤労者	貴重な(基調)な歴史物を観れたこと。	—	オランダの白と青の大皿	—
37	男	その他	貴重なキリスト教史料、平戸史料が見えた。	原城功陣常平中図、肖像類	—	講堂もすばらしかった。
35	男	勤労者	—	甲子夜話	—	—
55	男	勤労者	—	1868年といえは明治元年。そこまでキリスト教を弾圧していたとはおどろきました。	—	—
57	女	その他	—	—	—	—
—	女	勤労者	展示品の数が思っていたより少なかったことが残念でした。	—	—	ありがとうございました。また伺います。
28	女	勤労者	展示の内容がはっきりしていて分かりやすい。入口の展示室の模型があることで時間やルートが頭に入れられてよかった。	①魔境：実際にスイッチを入れてみて、大変おどろきました。 ②原城攻防の図。出身地の藩主の名が見て身近に感じた。	—	いつも毎日通勤路で橋を通るので気になっていました。思い切って来館してみてとても良かったです。また来たいです。
66	女	勤労者	—	—	—	—
43	男	勤労者	建物のおもむき。	受胎告知の絵皿、魔境	—	—
47	男	勤労者	平戸で見ることができなかったものを見ることができました。	—	—	—
42	男	本学教職員	実物が多い、テーマと展示品が明確など。	鎧、刀など。	—	—
18	—	学生	教科書に出てくるようなものが見れておもしろかった。	魔鏡がとても良かった。	魔物やエクソシストなどのもの。	—
17	男	—	レプリカが細かい	魔鏡	魔物、エクソシストの想像物。	—
19	男	本学学生	旧約聖書の印刷技術のすばらしさを見ることができたこと。正直驚きました。	ウコニツ聖書	旧約聖書に関して、当時の印刷技術のすばらしさが見たいです。	—
63	男	勤労者	原城図	—	日本における切支丹迫害の歴史	—
66	女	その他	舊の結まる館での特別展。コンパクトながらも見ごたえがありました。	バプテストの教えの中から生まれた学校でその心が今も続いていることに感動しました。	—	主人の出身校に初めて一緒に来て50年前の事を色々主人が話してくれました。お世話になった母校の話が72歳ではなく青年の顔で生き生きとしてとてもうれしかったです。来させて頂きすぎて頂きありがとうございました。
30	男	その他	視覚的に興味がありました。わたしは宗教は持ってないですが、こういう物を見ながら見物するのが理解しやすかったです。	種たち、外国から入ったものたち	外国の宣教師と日本人と一緒にいる絵の展示(写真)	—
56	男	その他	歴史にかかわる資料が実物のまま展示されていて興味が増えました。	松浦家の資料	西南学院にまつわる展示を増やしていただくとおもしろいです。卒業生として希望します。	—
18	男	本学学生	勉強になった。(作品をみて)	—	—	—
18	女	本学学生	当時のキリスト教に対する見方がわかっておもしろかった。	現時物語巻：どこに光君がいるのかを探してました。	—	—
19	女	本学学生	色々興味をひくものがあった。	魔境	—	—
19	男	本学学生	貴重な資料がよかったです。	魔境	—	—
61	男	勤労者	—	禁制定書や踏絵板之図など	—	—
69	女	その他	もうちょっと資料があると良かったです。平戸ゆかりの。	—	—	—
80	男	その他	もう少し系統的説明が欲しかった。展示点数も少ない。	踏絵板之図	—	—
38	女	勤労者	平戸出身なので身近に感じました。	—	—	—
57	男	勤労者	同系列のものと同じところに展示してあり、見やすい。キャプションもわかりやすい。	魔境	—	資料保護とは思いますが、もう少し明るいほうが良い。
40	男	勤労者	つながりがよかったです。	ロゼッタストーン	—	—
19	女	本学学生	見たことがないものをたくさん見ることができたので	源氏物語屏風や鞍など。	—	中世のヨーロッパの美術をメインにした特別展。いろいろな絵画や美術品をみたいですね。
—	男	勤労者	—	当時の聖書類	—	今回のような九州との関係をもっとしたものが良いかと思えます。
65	女	その他	—	聖書、受胎告知の菓子皿、松浦静山の印。	—	特別展はほぼ毎回満足していたっており、楽しみにしています。
19	男	本学学生	講堂の雰囲気	魔境	—	—
18	男	本学学生	—	—	—	—
69	男	その他	全体像がみえること	—	—	—
61	男	勤労者	—	—	—	—
20	女	学生	—	—	—	—
19	女	学生	静かで見やすかった。説明があつてわかりやすかった。	—	—	—
—	女	勤労者	近くで見れる資料ばかりで、おもしろいです	原城陣営図	南蛮文化	—

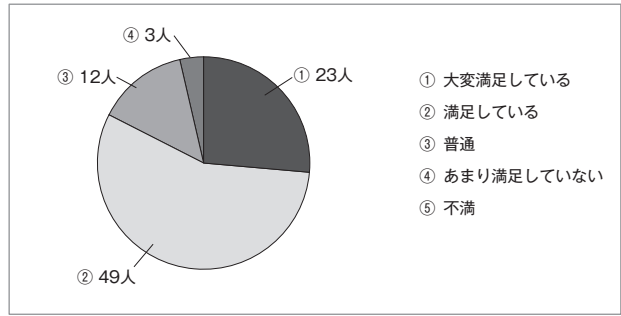
年齢	性別	職業	意見・感想	興味をもった展示資料	今後希望する特別展	自由記入欄
51	女	その他	実際の資料や絵、道具を見られたことで歴史が身近に感じられた。	禁教の資料など	—	二階も拝見でき、美しい建築にほれほれました。
51	女	その他	貴重な文献や宝物を実際に見ることができたから	かな文字で書かれた聖書	—	身近な場所で貴重な宝物にふれることができてよかったです
58	男	勤労者	—	—	—	—
65	男	その他	よく保存されています。	—	島原の乱	—
54	男	その他	平戸藩の知らないことがわかった。	島原の乱の絵	天草地方の進んだキリスト教文化	ありがとうございました。
20	女	本学学生	展示物が多い	—	—	—
20	女	本学学生	こんなに展示品があるとは思わなかったです。解説に中国語はあるのに英語がないのがナゾでした。子供用パンフレットは読みやすくて興味もてた。	奉書等文書にかかれてある内容が気に入りました。	—	—
41	女	勤労者	限られたスペースを工夫してきちんと史料(現物)を展示している点	原城図、静山の蔵書院、蝶の図譜	—	建物がとてもよかったです！
78	女	その他	①1549年日本に上陸したザビエルの信仰の姿勢、平戸への移動によって多くのキリスト者の誕生等、禁教とその展開の中で多くを悟らせられる。②ジャガタラ文の意味を知り子供たちの悲しみとせつなさが伝わる。	—	—	ありがとうございました。
71	男	その他	—	—	—	—
58	男	勤労者	—	—	—	—
53	女	その他	貴重な資料がテーマによって展示され、説明もわかりやすかった。	原城の戦国、写本、刀など	キリスト教と九州地方の関連テーマ、建築とキリスト教	四月から転勤で来福きました。今までの展示も見なかったです。歴史、キリスト教建築に興味があるので、大変有意義に見学させていただきましました。
20	男	本学学生	—	キリスト教禁教定書は実際どのようにして禁止を推奨するものだったので、おもしろいと思いました。	—	—
70	男	その他	—	—	—	—
88	男	その他	—	島原城攻め	—	—
54	男	本学学生	モーセ五書、ケニコット聖書など初め見ました。	三位一体の内容がわかりました。ゲテンベルグの美しい聖書	—	—
49	女	その他	—	唐草時絵十二手箱	キリスト関連	展示、講演会共毎回楽しみにしています
—	—	—	—	—	海外に追放された人達の史料が残っているのは、見てみたい	—
36	女	その他	—	かぶととくちゅうの展示	—	娘が現在西南系列の舞鶴幼稚園に通っています。毎週教会学校の時間…を見てるんですが子供にどういふ布教をしてきたかの歴史を纏めたものか、子供にも興味をわくかななど。
65	男	その他	—	甲子夜話	—	—
—	女	その他	—	踏絵板の図	—	どこにいても禁教令により信仰を守り続けた後を見る事ができました。
34	女	勤労者	内容が充実しており、解説等も詳細で出品作品も状態のよいものだった。	—	—	もう少し展示室が広いと作品をよりじっくり見られるのではないかと思います。
69	男	その他	ユダヤ教とキリスト教の歴史的な流れ	踏絵とその関連資料	—	参考になりました。ありがとうございました。
18	女	学生	—	—	—	—
18	女	本学学生	—	—	—	—
55	男	その他	—	—	—	—
55	男	自営業	松浦の家宝、現存している点	博物館を私学が運営している点	—	建物自体がすばらしい
57	女	自営業	—	時絵の柄や紋	—	建物自体がよかったです。
60	男	自営業	キリスト教大名大友氏の地元として、キリスト教について関心があり、平戸を訪ねたいと思っていた。事前に貴重な資料を見ることができ、満足している。	追放された人からの手紙	—	大分県内では博物館が未だ時々、別府大学での展示を見学します。大学校の地域への貢献を期待します。
—	男	その他	禁教政策のことがわかった。	城中国、十二手箱	—	よかったです。
78	女	その他	今まで見たことない展示品が多かった	掛け軸の位置が低くて見にくかった	—	—
39	男	勤労者	思想的な面だけでなく、歴史的背景にも触れていた。	松浦氏系図もあれば、時代の流れ等がより理解できたと思う(幕府初期、幕末とか)	山口のザビエル文化	—
29	女	その他	展示物の説明に3ヶ国語が使われている。説明がわかりやすい	受胎告知図菓子鉢	—	—
49	女	その他	—	—	—	卒業して30年近くになり、また福岡を離れて20年以上、思いがけず学校の誇らしい面に触れることができた。ありがとうございました。
37	男	勤労者	大学博物館でこれだけ展示が充実しているのも珍しいので	宮本武蔵の肖像画	十字軍の遠征、戦国大名やキリスト教大名について展示	—
60	男	勤労者	—	—	—	—
42	女	勤労者	—	—	—	—
66	男	その他	松浦藩とキリスト教との関わり方の経緯	藩府禁令に対するあり方	九州各地とのキリスト教のあり方、それに対する市民の関わり方	—
50	女	その他	踏絵の元となる絵を初めて見た。あんなに小さいものとは思わなかった。	—	—	—
—	女	その他	松浦藩の一部を知る事ができたこと	切支丹	—	—
—	男	勤労者	貴重な資料の実物を見ることができた	キリスト教禁教定書	—	有意義は特別展あととありがとうございました
—	男	その他	説明文が簡略で分かりやすい	—	—	—
32	男	勤労者	子供にもわかりやすいパンフレット(展示品の写真入)がよかったです。	—	—	聖書、表紙いろいろと見られてよかったです。
68	男	その他	—	—	—	—
68	男	その他	—	踏み絵と人別帳	—	—
—	女	その他	平戸松浦家の異国趣味	受胎告知図菓子鉢	—	—
50	女	その他	松浦静山が多趣味であったことがわかった	松浦家の家宝	—	—
61	女	その他	NHKのドラマに出てきた静山が実在の人物として少し歴史が身近になりました。	踏絵写	教会音楽	—
33	女	その他	松浦家の家財道具は良かった。ディスプレイが狭いです。	馬具	—	—
65	男	その他	松浦家とキリスト教との関わりが理解できた。そしてこの展示の意味も。	Authorized Version	キリスト教文化と日本文化の接点。前者が後者に与えた影響。ロドリゲスの大文典の頃の。	—
39	男	本学学生	ゆっくりと見学できるところ	伊良保茶碗、踏絵板の図	—	—
40	男	勤労者	松浦氏の往時をしのぶことができた点	具足と刀と聖書と絵巻	キリスト教の黒田如水についての特別展	面白かったです。また特別展がある時は教えてください。
39	男	その他	松浦家の資料の中でも知られているものを見ることができた。	禁教、踏絵図、原城図	—	もう少しライティングがいいと観覧しやすくなると思います。
61	男	勤労者	特別展の展示が低く見づらい	—	—	—
42	女	その他	—	キリスト教関連の書状など	—	近くきつとも通っていて、気になってました。OBをして久しぶりに大学に行きました。
13	女	学生	キリスト教のことや禁教との時代に使われていた物などが知れて良かったです。特に禁教のことについてはよく知れて良かったです。	源氏物絵図弊風、三星葉入巻太刀キ存	特に希望はありません	今日、初めて西南学院大学の博物館に来たのですが、とても楽しく、学習させていただきましました。
13	女	学生	映像や展示物がたくさんあってとてもいいと思います。	キリスト教やキリスト教に関する展示物がとても見になりました。	昔の日本についてなど	楽しませていただきました。ありがとうございました。
13	女	学生	作品が見やすく展示であったのでよかったです。	—	—	—
22	女	学生	ゆとりのある展示方法。レプリカが少なく、生の質感を見ることができました。	源氏物語弊風	船の模型が毎回すばらしいので、また、海を渡ってきたキリスト教のテーマを続けて欲しいです。	キリストの踏み絵が心に残っています。
50	男	勤労者	鎖国時代の資料が見れたこと	聖書の写し	—	貴重な資料を拝見させていただきありがとうございます。
59	女	その他	—	通りかからりてポスターがあったので、拝見させていただきました。大学で松浦家の家宝などが展示されていて、興味を持ちました。	—	—
—	男	その他	しっかり保存されている。	—	—	—
50	男	勤労者	松浦家の代表的な文物や展示品をみれたことや先生の講演がよかったです	特に公開講演会がよかったです	松浦資料館と今後とも連携をふかめていただきたい。西南学院大学の皆さまをはじめ	—
77	女	その他	実物あるいは写しなど	踏み絵、蝶	—	—
77	男	その他	当時の様子が具体的にわかり、興味深い	—	キリスト教布教の具体的状況	東京から転勤してきたばかりなので、当校が東北学院、関西学院と同じでキリスト教布教の全国展開を行うことを初めて知って、知識が増えました。
51	女	その他	—	伊良保茶碗	—	初めて来館させていただきウォーリス設計の建物だと知り感激しました。木の館はいいですね。

2013年度秋季特別展『日本信仰の源流とキリスト教—受容と展開、そして教育—』アンケート集計

1. 本日の特別展をどのように知りましたか？（複数回答可）



2. 特別展の内容についてお答えください。



3. アンケート

年齢	性別	職業	意見・感想	興味をもった展示資料	今後希望する特別展	自由記入欄
43	男	勤労者	神道から歴史を起しているところ	メダイ小さいですね		
53	女	その他	西南と国学院の共催という企画	国学院所蔵の展示物	キリスト教に関する分野	博物館を持つ西南学院大学羨ましい。私の時代にはなく、残念、日曜日も開館していると見に行きやすい。
28	女	学生	2つの大学博物館の所蔵品から、貴重な歴史資料を展示している点。日本における神道とキリスト教の関係史という大きなテーマにとりこんでいる点。日本における神道とキリスト教の関係の検証ということでは単にモノを並列展示するだけではなく、もう少し踏み込んだ考察による解説があるほうがわかりやすいと思う（特に近代と教育の部分などで）。そのほか、これは今回に限ったことではありませんが、解説文の英文に不備が散見されることが、毎回残念になります。	江戸時代の禁教下でのキリスト教の資料は日本の在来の文化と新しく来たキリスト教との衝突ということを物語っていると思った。同時に、近代のところで、特に戦争中にあった葛藤（御真影の問題など）についてももう少し知りたいと興味を持ちました。	九州のキリスト教シリーズやその他のキリスト教関係の展覧会が、貴館の特徴だと思うので、期待しています。	建物の雰囲気がいいです。常設展も充実していると思います。ありがとうございました。
30	男	その他	—	—	—	—
64	男	勤労者	展示資料が充実	—	—	—
83	男	その他	日頃縁の薄い神道系の国学院大学博物館の所蔵品を見ることが出来た点。特に僧形八幡神図は興味深かった。	—	—	展示品保護のためやむを得ないと思うが、薄暗くて老人にはよく見えなかった。
52	男	勤労者	死海写本を見たこと	—	—	—
62	男	その他	貴重な歴史遺物を見ることができた	キリストの遺物、原城跡のもの	近代以降のプロシスタントの日本における展開	教育の面がよくわからない。日本の宗教の源流とキリスト教のそれとの接点がどのように結びつくのか並置されるだけでよいのか？
33	女	勤労者	ゆっくり観ることができた	—	—	—
61	男	勤労者	西南学院大学の事が理解できました。	—	—	—
—	女	その他	—	—	—	—
25	男	勤労者	講堂 きれいでした	—	—	—
52	女	勤労者	原攻の十字架などのものがあつた。その頃の信仰を胸に深く残っている。魔鏡と本物を見て、驚いた。	—	—	娘が西南学院大学の三年生で、入学した頃からキリスト教に興味をもつようになりました。もっと深く学びたいと思います。
52	女	その他	—	神道とキリスト教が交える、重なる時代についての展示がほしかった。	—	せっかく異なる宗教を一同に集めたのだから、日本人の宗教観にもっと入り込んだ内容があっても良いのでは？
—	—	—	—	—	—	ありがとう
74	女	その他	難文でかかれたもの読み下し、対訳があれば	—	被昇天のマリア	—
38	女	その他	貴重な本物が見れてよかったです。	—	—	建物の外観も内観も照明も素敵でした。おちついて見やすかったです。
25	女	勤労者	建物が良かった。	—	—	—
48	男	勤労者	—	展示物と建物がきれいでした。	—	—
65	女	その他	複製版とはいえ、百聞一見にしかず、聖書の中のことがよく近くなりました。	ビデオ。展示物すべて（日本九州の歴史など）	キリスト教に関するもの。西南学院大学ならではの内容ですね。これからのキリスト教の本質など。	ありがとうございました。ガラスケースの中の白い説明がライトが反射して少し見づらかった。
17	男	学生	—	—	—	キリスト教のことについてもっと知りたいと思いました。
22	男	本学学生	キリスト教と神教等の歴史背景を知れたこと	—	—	—
40	男	勤労者	—	原城出土関連	他宗派や他宗教との関連に着目したもの	毎回特別展が楽しみです。これからも今の様な感じをお願い致します。
23	女	勤労者	順を追って日本における信仰の文化を理解することができた点。	—	—	—
55	男	自営業	キリスト教の歴史がよくわかった。	魔境	—	—
60	男	その他	—	—	—	去年死亡した父親は旧制西南中学卒で、私は大学76期経済学部経済学科卒です。
23	男	本学学生	—	—	—	—
64	女	その他	宗門を書いた文を見ましたら候文で達筆でした。	—	入り口の生け花に感銘しました。	—
10	女	本学学生	見やすくなられていた。	ロザリオ、ブチャーチン会議の図	ノアの箱舟	—
40	女	学生	1つ1つの展示にわかりやすく解説が書いてあり、興味深かった。前に見せていただいた物もあらためて見ると再発見な感じ。	男神像・女神像	—	ビデオの音量が大きすぎました。
72	男	その他	思ったより収集あり	—	—	—
62	男	その他	神道の資料を始めて見た	マリアカンノン	プロテスタントの近代史	—
50	女	その他	—	—	—	—
50	男	勤労者	踏絵	—	—	—
70	女	その他	キリスト教のことがよくわかる	—	—	西南中学創設当時の写真があつたが、この中に祖父がいたかもしれない
54	男	勤労者	九州のキリスト教の歴史がよくわかりました。	—	—	—

年齢	性別	職業	意見・感想	興味をもった展示資料	今後希望する特別展	自由記入欄
33	男	勤労者	卒業生なので懐かしかった。	チャペルが見られることは大きい。プロテスタント風なのがわかり易い。	学院の歴史	—
35	女	勤労者	講堂	—	—	—
71	女	その他	話には聞いていたが実際に資料と向き合いながら歴史をひもどくのは楽しい	魔鏡の技術に感動	福岡での伝導のやり方について	—
67	女	その他	キリストの歴史、隠れキリシタン弾圧の踏絵台帳など、又魔鏡など必見の資料に感激しました。	—	—	京都新聞に隠れキリシタンの魔鏡の記事を見て来訪
55	男	勤労者	神仏のお話	土偶、縄文土器	日本の古代史	—
75	男	その他	歴史年表と、それを裏づけする資料を対比に展示していた	—	—	—
64	女	その他	黒田家の古文書、定款板。迫力ある文字に驚きました。当時のことが想像できました。	—	—	入り口の生け花は百合が鮮やかでした。気持ちよい。
60	男	本学学生	—	—	—	—
35	女	勤労者	展示物が興味深かった。初めてみる歴史上の資料が為になった。	踏絵、魔境	—	今回いけ花のディスプレイが展示にあわせて置かれていたが、建物にもよく合っていて雰囲気よかった。
40	男	勤労者	キリスト教と、それを受容した土地の文化的背景をしっかりと紹介している。	キリシタン制札	—	読み辛い展示品には自分のキャプションをつけていただけると助かります。
34	女	勤労者	—	マリア観音像	ユダヤ教とキリスト教の関係 ユダヤは迫害され、キリストは全世界に広く伝わり、その差はなぜか。	言葉がちがうのに、どうやって日本でキリスト教が布教されていったのか興味があります。
	男	その他	内容が充実していた	マリア観音像	—	—
64	男	その他	レプリカをみられたこと	—	—	—
39	男	勤労者	—	—	—	—
18	男	学生	雰囲気落ち着いていてよかった。	土偶などの古典物	—	—
29	勤労者	—	—	—	—	—
50	女	勤労者	—	—	—	—
40	男	勤労者	神道や仏教についても学べたこと	マリア観音像	黒田とキリスト教について	また、この博物館に来ます。
54	女	その他	キリスト教の歴史がよくわかる	もっと時間をかけて見たかったのですが、聖書関連の資料	以前の展示の繰り返しでも色々黒田でのキリスト教	—
63	男	勤労者	貴重な資料の展示	宗門御改影踏絵	転び「バテレン」にかかる展示など	—
	男	その他	説明が分かりやすい。	—	—	—
69	女	その他	西南学院の長い歴史に思いを聞かせることができました。ヴォーリス建築の美しさに興味がありました。	—	—	現在、バプテスト教会に通っておりますので、展示の一つ一つに意味を感じられました。
54	女	自営業	日本人の信仰の歴史がよく理解できました。	神道と仏教、キリスト教の信仰対象の同時陳列	—	—
56	男	勤労者	もし仏教より先にキリスト教が日本に入ってきたらと考えさせられました。	被昇天のマリア	キリスト教が日本においてどういう風に広まったのか？東北などはなかったのか？	—
22	女	学生	落ち着いた雰囲気説明を見ることができた。	女神像、男神像	わかりやすいもの	—
31	女	本学学生	初めて本学学生でありながら入ったことなく、礼拝堂がとても素敵でした。	礼拝堂	—	—
43	—	その他	丁寧な解説	つながりが見えにくい点	聖母の無原罪のおやどり	—
41	男	その他	貴重な資料といやされる場内の音色に安堵感を得ました	—	明治維新政府の禁教を継続を表明したたて札です	—
56	女	その他	聖書のレプリカ等初めて目にすることができました。踏絵等による宗教弾圧についても考えさせられる機会をもらえました。	—	—	—
20	女	本学学生	ミニチュア	魔境	—	—
38	—	勤労者	展示室が狭い事に多くのものが見られなかった。	キリシタン制札の本体が見られたのは感激でした。	—	創建時の金庫(奉安殿)は復元して公開してほしい。
49	女	その他	—	三位一体	キリスト関連	毎回興味深いものばかりで、次回以降も楽しみたいです。
56	男	勤労者	公開講演会がおもしろい	—	文献資料については書いてある内容のエッセンスの説明がほしい。	—
46	男	勤労者	歴史の流れに沿って具体的例で説明がよかった。	男神、女神、木製存在感	—	—
39	男	勤労者	西南の歴史がよくわかった。	ドーシャー先生の部屋	—	—
51	男	勤労者	原城出土の品	—	—	—
70	女	その他	宗教の違いをわかって、大学の研究の成果が見られた。	かけ鏡や神像が暗くて見難かった。	代友宗りんを深く知りたい。	—
63	女	その他	内容が充実、時間がなく残念もつとゆっくり見に来たい。	魔境にびっくり	—	—
62	男	その他	宝物をみるのができた	—	—	—
33	男	勤労者	見やすいのでよいと思います。	宗門改帳 島原藩	また時々伺います	—
61	女	勤労者	—	スタンプがとってもよい	西南らしくイエス、キリストについて	時々よらせています。みれども近くです。
47	男	勤労者	国学院との共同企画というアイデアがよい	景教僧文青磁壺	今後この視座で企画展示を拡大すべきと思う	—
28	女	勤労者	—	—	—	—
62	男	勤労者	キリスト教の知識を持たない人を意識した解説がほしかった。	—	—	—
20	男	本学学生	原物をみられたこと。古い聖書を初めてみるのができた。	ケルト調の飾りが付いた聖書	—	—
64	男	その他	ユダヤ教とキリスト教のつながりについての展示	上記と同じ	—	—
52	男	勤労者	古代アニミズム、神道、仏教、キリスト教と、日本の古代の宗教の受容を扱っていた点	原城から発掘された十字架、メダイ類	—	—
59	男	勤労者	キリシタン禁教の歴史が展示されており、実物があるのがよかった。	ヴォーリスの設計の建物が九州にあるのを初めて知った。	—	関西学院のOBなので、同じ親しみを感じた。
48	男	—	日本の古墳期からの祭祀に使用された品々の展示と、キリスト教での像その他展示は今まで見たことのない展示構成でした。	三位一体、パンフレットにも載っていた実物が見れて満足しています。	—	—
47	男	勤労者	色々な聖書の写本、日本の歴史がわかった。	死海文書	ユダヤ教に関するもの	—
65	男	その他	日常見れないもの展示物はいけんできたこと	—	—	—
54	男	自営業	貴重な資料で解説がよい	—	禁教下にあった時代資料。	他大学との共催非常に良いことである。
70	男	その他	—	—	インドの遺物	景況インドキリスト教史

来館団体一覧

期日	見学時間	団体名	人数
4月2日(火)	10:00~11:00	新任教員見学	50名
4月3日(水)	10:00~17:00	神学部チャペル	55名
4月4日(木)	10:00~10:30	ゆうほ会	19名
4月8日(月)	9:30~10:30	西南学院史講義	600名
	11:00~12:00	神学部チャペル	56名
4月11日(木)	11:30~12:00	富良野教会	6名
4月15日(月)	11:00~12:00	神学部チャペル	43名
4月17日(水)	15:10~16:40	新任職員研修	7名
4月22日(月)	11:00~12:00	神学部チャペル	33名
4月29日(月)	11:00~12:00	神学部チャペル	36名
5月8日(水)	9:00~13:30	西南学院中学校「聖書」講義	120名
	12:00~12:30	十日会	14名
5月10日(金)	15:00~16:00	講倫館高校	147名
	11:00~12:00	神学部チャペル	37名
5月13日(月)	11:00~12:00	神学部チャペル	37名
5月16日(木)	14:00~15:00	ケルシー・ピーチ牧師	4名
5月20日(月)	11:00~12:00	神学部チャペル	50名
5月22日(水)	10:00~11:00	西南学院小学校2年生	74名
5月23日(木)	13:00~13:50	ぐりーんで巡る第5回 ミュージアムガイドツアー	17名
	11:00~12:00	神学部チャペル	42名
5月27日(月)	14:00~15:00	長谷川町子美術館	8名
	10:00~10:50	西南学院小学校6年生 「聖書」講義	73名
6月1日(土)	14:00~15:00	西南学院学院徒出陣戦没者 追悼記念会	220名
6月3日(月)	11:00~12:00	神学部チャペル	36名
6月7日(金)	10:15~10:45	西南学院中学校「聖書」講義	40名
6月10日(月)	11:00~12:00	神学部チャペル	80名
6月12日(水)	11:10~12:40	大学院宮平望先生 「キリスト教思想論特殊講義」	2名
	13:30~15:00	国際文化学部松原先生ゼミ	15名
6月13日(木)	14:00~15:30	九州大学美学美術史井出先生 ゼミ	16名
	11:00~12:00	神学部チャペル	34名
6月17日(月)	11:00~12:00	筑紫台高校	122名
	9:30~10:30	宮平望先生「キリスト教I」 講義	41名
6月20日(木)	9:30~10:30	宮平望先生「アメリカ思想文化 論A」講義	41名
	11:30~12:40	宮平望先生「キリスト教I」 講義	41名
	11:30~12:00	CCC(韓国)	20名
	15:30~16:00	福岡県立筑前高等学校3年生	86名
6月21日(金)	9:30~10:30	宮平望先生「キリスト教I」 講義	41名
6月24日(月)	11:00~12:00	神学部チャペル	32名
	12:20~12:30	筑紫台高校	49名
6月26日(水)	10:00~10:30	福岡県立魁誠高等学校PTA	81名
6月27日(木)	11:15~11:45	福岡県立嘉徳高等学校PTA	50名
	14:00~15:30	全州ハナ教会(韓国)	20名
6月28日(金)	10:00~10:30	日本キリスト教史A	20名
	14:00~15:00	朝倉PTA	107名
7月1日(月)	11:00~12:00	神学部チャペル	31名
	15:30~16:00	須恵HS	80人
7月3日(水)	13:00~14:00	福岡市立早良中学校	14名
7月5日(金)	17:30~18:00	チャペルクワイア	15名
	9:00~9:30	西南学院中学校「聖書」講義	40名
	12:30~13:30	福岡女子高等学校	50名
	14:30~15:00	CCC(韓国)	14名
7月8日(月)	14:45~15:10	下関南高等学校	40名
	11:00~12:00	神学部チャペル	30名
7月9日(火)	13:00~13:10	青陵高校	80名
	10:30~10:45	須恵高校	20名
7月10日(水)	14:45~15:00	須恵高校	20名
	12:30~13:30	二日市教会	9名
7月11日(木)	14:30~15:30	東亜大学校(韓国)	14名

期日	見学時間	団体名	人数
7月12日(金)	11:30~12:00	原公民館	50名
	12:00~12:30	CCC(韓国)	19名
7月15日(月)	15:00~15:30	山門高校	40名
	11:00~12:00	神学部チャペル	27名
7月17日(水)	10:50~11:20	清和高等学校(佐賀県)	170名
7月19日(金)	13:00~13:30	福岡海星学院高等学校	40名
7月22日(月)	11:00~12:00	神学部チャペル	28名
7月24日(水)	10:00~11:00	チェジュ島ソーホー教会	20名
	11:30~12:00	福岡教会	15名
8月2日(金)	14:00~14:30	CCC(韓国)	23名
8月7日(水)	11:30~12:30	祐誠高等学校	200名
8月8日(木)	10:00~10:30	テニス部OB	4名
8月23日(金)	11:00~11:30	下関バプテスト教会	2名
	11:00~11:30	若松バプテスト教会	5名
8月26日(月)	14:45~15:00	九州国際大学附属高等学校	45名
8月28日(水)	11:00~11:30	唐津西PTA	45名
	11:30~12:00	東福岡幼稚園	3名
9月4日(水)	13:00~13:30	明光学園高校	70名
	15:00~15:30	八女高校PTA	45名
9月5日(木)	15:30~16:00	愛知県私立大学事務長会	30名
	10:00~14:00	CSSプライダル	95名
9月16日(金)	13:00~13:30	福岡県立玄海高等学校	80名
9月18日(水)	14:00~15:00	福岡市立福岡高等学校	120名
9月19日(木)	15:30~16:00	佐賀県立神埼高等学校	40名
9月21日(土)	13:00~18:00	宙の木(音楽団体)	20名
9月23日(月)	11:00~12:00	神学部チャペル	28名
9月25日(水)	17:00~18:00	チャペルクワイア	20名
9月26日(木)	14:00~14:30	筑紫ヶ丘小学校	200名
9月28日(土)	10:00~18:00	宙の木(音楽団体)	59名
9月30日(月)	11:00~12:00	神学部チャペル	38名
10月3日(木)	10:45~11:00	福岡県立嘉徳東高校	40名
10月7日(月)	11:00~12:00	神学部チャペル	33名
10月9日(水)	17:00~18:00	チャペルクワイア	20名
10月16日(水)	15:30~16:00	必由館高校	40名
10月17日(木)	11:55~12:15	福岡県立太宰府高等学校	80名
10月23日(水)	11:30~12:00	川棚高校PTA	20名
	16:30~18:00	チャペルクワイア	20名
10月24日(木)	13:30~13:45	福岡県立武蔵台高等学校	145名
10月30日(水)	16:30~18:00	チャペルクワイア	20名
10月31日(木)	10:00~11:00	宮崎先生古文書学	32名
11月4日(月)	11:00~12:00	神学部チャペル	28名
11月11日(月)	11:00~12:00	神学部チャペル	40名
12月2日(月)	11:00~12:00	神学部チャペル	??名
	14:45~15:00	長崎県立宇久高等学校	9名
12月4日(水)	9:30~10:00	宮平先生キリスト教学	50名
	12:00~12:30	熊本信愛高等学校	20名
12月5日(木)	9:30~10:00	宮平先生キリスト教学	50名
	13:30~14:00	宮平先生キリスト教学	50名
12月6日(金)	11:30~12:00	朝倉高校	35名
12月7日(土)	10:00~10:30	福岡商工会議所	5名
12月9日(月)	11:00~12:00	神学部チャペル	35名
12月16日(月)	11:00~12:00	神学部チャペル	27名
12月20日(水)	16:30~18:00	留学生別科	60名
12月23日(月)	13:00~15:00	あおぞらビヨビヨ合唱団	110名
1月6日(月)	11:00~12:00	神学部チャペル	30名
1月8日(水)	14:00~14:30	韓国人学生団体	50名
1月20日(月)	11:00~12:00	神学部チャペル	33名
2月22日(土)	16:30~17:30	西南学院ゴスペルクワイア	75名
2月26日(水)	11:30~12:00	南島原市教育委員会	8名
3月8日(土)	14:00~15:00	西南学院大学74期フィルダー ゼミ同窓生	6名
3月8日(土)	14:30~16:30	西南プリエール	8名
3月19日(水)	13:30~15:00	神学部卒業礼拝	200名
3月26日(水)	13:00~14:00	精華女子高等学校	70名

5. その他

2013年度 寄贈・購入図書一覧

寄贈図書一覧

著者・編者	書名	発行	発行年	寄贈元
鹿児島県上野原縄文の森	上野原縄文の森だより 2013.3 Vol.24	鹿児島県上野原縄文の森	2013年	鹿児島県上野原縄文の森
鹿児島県上野原縄文の森	平成25年度上野原縄文の森 イベント案内	鹿児島県上野原縄文の森	2013年	鹿児島県上野原縄文の森
熊本県教育委員会	古代山城 鞠智城展～大和朝廷の西の護り～	熊本県教育委員会	2013年	熊本県教育委員会
大川市教育委員会	下木佐木下村遺跡 三丸中小路遺跡	大川市教育委員会	2013年	大川市教育委員会
愛知大学東亜同文書院大学 記念センター	同文書院記念報 vol.21	愛知大学東亜同文書院大学 記念センター	2013年	愛知大学東亜同文書院大学 記念センター
京都大学大学文書館	京都大学大学文書館研究紀要 第11号	京都大学大学文書館	2013年	京都大学大学文書館
北海道大学総合博物館	北海道大学総合博物館研究報告 第6号 「環オホーツク海地域における前近代交易網の発達と諸民族形成史の研究」	北海道大学総合博物館	2013年	北海道大学総合博物館
北海道大学総合博物館	北方四島調査報告	北海道大学総合博物館	2013年	北海道大学総合博物館
大分市歴史資料館	大分どんどこ こんどこ 世界図・日本図の中の大分	大分市歴史資料館	2012年	大分市歴史資料館
福島県立博物館	季刊博物館だより 108号	福島県立博物館	2013年	福島県立博物館
学習院大学史料館	学習院大学史料館紀要 第19号	学習院大学史料館	2013年	学習院大学史料館
福岡市総合図書館	福岡市総合図書館研究紀要 第13号	福岡市総合図書館	2013年	福岡市総合図書館
福岡市総合図書館 文学・文書課	平成24年度 古文書資料目録 18	福岡市総合図書館 文学・文書課	2013年	福岡市総合図書館
玉川大学教育博物館	玉川大学教育博物館 紀要 第10号	玉川大学教育博物館	2013年	玉川大学教育博物館
玉川大学教育博物館	博物館ニュース SHU No.40	玉川大学教育博物館	2013年	玉川大学教育博物館
大分県立歴史博物館	大分県立博物館 研究紀要 14	大分県立歴史博物館	2013年	大分県立歴史博物館
公益財団法人 日本博物館協会	博物館研究 vol.48 No.5 通巻539号	公益財団法人 日本博物館協会	2013年	公益財団法人 日本博物館協会
福岡市美術館	平成23年度 福岡市美術館活動の記録	福岡市美術館	2013年	福岡市美術館
福岡市美術館	福岡市美術館 研究紀要第1号	福岡市美術館	2013年	福岡市美術館
杵築市教育委員会	御塔山古墳発掘調査報告書 昭和63年度～平成21年度の調査および小髭山古墳の調査 (補足)	杵築市教育委員会	2013年	杵築市教育委員会
岩手県立博物館 /昭和女子大学光葉博物館	2011.3.11平成の大津波被害と博物館 —被災資料の再生を目指して—	岩手県立博物館 昭和女子大学光葉博物館	2013年	岩手県立博物館 昭和女子大学光葉博物館
昭和女子大学光葉博物館	昭和女子大学光葉博物館コレクション 世界の仮面	昭和女子大学光葉博物館	2013年	昭和女子大学光葉博物館
平戸市生月町博物館・島の館	平戸市生月町博物館 島の館だより	平戸市生月町博物館・島の館	2013年	平戸市生月町博物館・島の館
関西大学博物館	関西大学博物館紀要 第19号	関西大学博物館	2013年	関西大学博物館
関西大学博物館	関西大学博物館象報 No.66	関西大学博物館	2013年	関西大学博物館
東京大学史料編纂所附属 画像史料解析センター	東京大学史料編纂所附属 画像史料解析センター通信 第61号	東京大学史料編纂所	2013年	東京大学史料編纂所
みやざき歴史文化館 宮崎市佐土原歴史資料館 宮崎市天ヶ城歴史民俗資料館	宮崎市歴史資料館年報・宮崎市歴史資料館研究紀要 第4号	公益財団法人宮崎文化振興協会	2013年	みやざき歴史文化館
島根大学ミュージアム	島根大学ミュージアム年報 平成23・24年度	島根大学ミュージアム	2013年	島根大学ミュージアム
九州国立博物館	九州国立博物館 季刊情報誌 ASIAGE vol.28	九州国立博物館	2013年	九州国立博物館
学習院大学史料館	学習院大学史料館 ミュージアム・レター No.21	学習院大学史料館	2013年	学習院大学史料館
大分県立歴史博物館	大分県立歴史博物館年報 2012	大分県立歴史博物館	2013年	大分県立歴史博物館
東北学院大学博物館	東北学院大学博物館 常設展解説パンフレット	東北学院大学博物館	2013年	東北学院大学博物館
東北学院大学博物館	東北学院大学博物館年報vol.3	東北学院大学博物館	2013年	東北学院大学博物館
大阪大谷大学	大阪大谷大学 博物館学芸員課程年報vol.13	大阪大谷大学	2013年	大阪大谷大学
神戸大学大学院海事科学研究科 海事博物館専門員会	神戸大学大学院海事科学研究科 海事博物館研究年報 No.40 2012	神戸大学大学院海事科学研究科 海事博物館	2013年	神戸大学大学院海事科学研究科 海事博物館
神戸大学大学院海事科学研究科 海事博物館専門員会	神戸大学大学院海事科学研究科 海事博物館 企画展図録	神戸大学大学院海事科学研究科 海事博物館	2012年	神戸大学大学院海事科学研究科 海事博物館
立正大学博物館学芸員課程	立正大学博物館学芸員課程年報	立正大学博物館学芸員課程	2013年	立正大学博物館学芸員課程
鹿児島大学総合研究博物館	鹿児島大学総合研究博物館 News letter No.31	鹿児島大学総合研究博物館	2013年	鹿児島大学総合研究博物館
鹿児島大学総合研究博物館	鹿児島大学総合研究博物館 News letter No.32	鹿児島大学総合研究博物館	2013年	鹿児島大学総合研究博物館
鹿児島大学総合研究博物館	鹿児島大学総合研究博物館年報	鹿児島大学総合研究博物館	2013年	鹿児島大学総合研究博物館
九州保健福祉大学 学芸員養成課程	九州保健福祉大学 博物館学芸員養成課程年報2	九州保健福祉大学 学芸員養成課程	2013年	九州保健福祉大学 学芸員養成課程
佐賀県立九州陶磁文化館	セラミック九州 佐賀県立九州陶磁文化館報 No.49	佐賀県立九州陶磁文化館	2013年	佐賀県立九州陶磁文化館
学習院大学史料館	学習院大学史料館 ミュージアム・レター 第22号	学習院大学史料館	2013年	学習院大学史料館
京都大学大学文書館	京都大学大学文書館案内リーフレット(改訂版)	京都大学大学文書館	2013年	京都大学大学文書館
京都大学大学文書館	京都大学大学文書館だより 第24号	京都大学大学文書館	2013年	京都大学大学文書館

著者・編者	書名	発行	発行年	寄贈元
北九州市立自然史・歴史博物館	北九州市立自然史・歴史博物館 (北九州市立いのちのたび博物館)年報 平成23年度	北九州市立自然史・歴史博物館	2013年	北九州市立自然史・歴史博物館
北九州市立自然史・歴史博物館	北九州市立自然史・歴史博物館 研究報告 B類歴史 第10号	北九州市立自然史・歴史博物館	2013年	北九州市立自然史・歴史博物館
北九州市立自然史・歴史博物館	北九州市立自然史・歴史博物館 いのちのたび博物館ミュージアムガイド	北九州市立自然史・歴史博物館	2013年	北九州市立自然史・歴史博物館
北九州市立自然史・歴史博物館	北九州市制50周年記念展 北九州市の宝もの	北九州市立自然史・歴史博物館	2013年	北九州市立自然史・歴史博物館
公益財団法人 徳川記念財団	公益財団法人 徳川記念財団 会報vol.21	公益財団法人 徳川記念財団	2013年	公益財団法人 徳川記念財団
東洋大学	東洋大学博物館学年報	東洋大学	2013年	東洋大学
全日本博物館学会	博物館学雑誌 第38巻第2号	全日本博物館学会	2013年	全日本博物館学会
東京都江戸東京博物館 都市歴史研究室	東京都江戸東京博物館紀要 第3号	公益財団法人 東京都歴史文化財団	2013年	東京都江戸東京博物館
東京都江戸東京博物館 都市歴史研究室	東京都江戸東京博物館 調査報告書 第27集	東京都	2012年	東京都江戸東京博物館
「市民と共に ミュージアム IPM」実行委員会	公開シンポジウム「市民と共に ミュージアムIPM」報告書	「市民と共に ミュージアム IPM」実行委員会	2013年	九州国立博物館
「市民と共に ミュージアム IPM」実行委員会	「市民と共に ミュージアムIPM」報告書(研修編)	「市民と共に ミュージアム IPM」実行委員会	2013年	九州国立博物館
「市民と共に ミュージアム IPM」実行委員会	「市民と共に ミュージアムIPM」報告書 (報告会・施設見学調査編)	「市民と共に ミュージアム IPM」実行委員会	2013年	九州国立博物館
公益財団法人 日本博物館協会	博物館研究vol.48 No.7	公益財団法人 日本博物館協会	2013年	公益財団法人 日本博物館協会
奈良大学博物館	板木あまざま 芭蕉・蕪村・秋成・一茶も勢ぞろい	奈良大学博物館	2013年	奈良大学
帝塚山大学付属博物館	帝塚山大学付属博物館Ⅰ	帝塚山大学付属博物館	2005年	帝塚山大学付属博物館
帝塚山大学付属博物館	帝塚山大学付属博物館Ⅱ	帝塚山大学付属博物館	2007年	帝塚山大学付属博物館
帝塚山大学付属博物館	帝塚山大学付属博物館Ⅲ	帝塚山大学付属博物館	2008年	帝塚山大学付属博物館
帝塚山大学付属博物館	帝塚山大学付属博物館Ⅳ	帝塚山大学付属博物館	2009年	帝塚山大学付属博物館
帝塚山大学付属博物館	帝塚山大学付属博物館Ⅴ	帝塚山大学付属博物館	2010年	帝塚山大学付属博物館
帝塚山大学付属博物館	帝塚山大学付属博物館Ⅵ	帝塚山大学付属博物館	2011年	帝塚山大学付属博物館
帝塚山大学付属博物館	帝塚山大学付属博物館Ⅶ	帝塚山大学付属博物館	2012年	帝塚山大学付属博物館
帝塚山大学付属博物館 紀の川市教育委員会	第一回共催展 日・中・韓の古代瓦	帝塚山大学付属博物館 紀の川市教育委員会	2012年	帝塚山大学付属博物館
帝塚山大学付属博物館	第四回特別展示 大正・昭和の絵葉書	帝塚山大学付属博物館	2005年	帝塚山大学付属博物館
帝塚山大学付属博物館	第五回特別展示 鏡の文様の世界～中国の古鏡	帝塚山大学付属博物館	2006年	帝塚山大学付属博物館
帝塚山大学付属博物館	第7回帝塚山大学付属博物館特別展示 左棧瓦	帝塚山大学付属博物館	2007年	帝塚山大学付属博物館
帝塚山大学付属博物館	第8回特別展示 都の緑釉瓦	帝塚山大学付属博物館	2007年	帝塚山大学付属博物館
帝塚山大学付属博物館	第15回特別展示 願いを絵馬に 一板に描いた祈りのかたち	帝塚山大学付属博物館	2011年	帝塚山大学付属博物館
帝塚山大学付属博物館	第16回特別展示 新取の瓦2	帝塚山大学付属博物館	2011年	帝塚山大学付属博物館
帝塚山大学付属博物館	第17回特別展示 遠く離れた兄弟瓦	帝塚山大学付属博物館	2012年	帝塚山大学付属博物館
帝塚山大学付属博物館	第19回特別展示 寧楽美術館所蔵の瓦	帝塚山大学付属博物館	2012年	帝塚山大学付属博物館
帝塚山大学付属博物館	第20回特別展示 中国瓦の歴史 瓦の来た道	帝塚山大学付属博物館	2013年	帝塚山大学付属博物館
九州大学大学院芸術工学研究院	九州大学ミュージアム/バスプロジェクト	九州大学出版会	2013年	九州大学総合研究博物館
立正大学博物館	立正大学博物館年報9	立正大学博物館	2011年	立正大学博物館
立正大学博物館	立正大学博物館年報10	立正大学博物館	2012年	立正大学博物館
立正大学博物館	立正大学博物館年報11	立正大学博物館	2013年	立正大学博物館
青山顕彰氏寄贈 考古資料コレクション	館蔵資料「基礎文献」叢刊 第6輯	立正大学博物館	2013年	立正大学博物館
立正大学博物館	立正大学博物館 館報 万吉だより 第13号	立正大学博物館	2010年	立正大学博物館
立正大学博物館	立正大学博物館 館報 万吉だより 第14号	立正大学博物館	2011年	立正大学博物館
立正大学博物館	立正大学博物館 館報 万吉だより 第15号	立正大学博物館	2011年	立正大学博物館
立正大学博物館	立正大学博物館 館報 万吉だより 第16号	立正大学博物館	2012年	立正大学博物館
九州国立博物館	九州国立博物館 季刊情報誌アジアージュ vol.29	九州国立博物館	2013年	九州国立博物館
思文閣出版	思文閣古書資料目録 第二百三十三号	思文閣出版	2013年	思文閣出版
福島県立博物館	季刊博物館だより 109号	福島県立博物館	2013年	福島県立博物館
尚古集成館	薩英戦争150年一前の浜の戦争一	尚古集成館	2013年	尚古集成館
榎本弘紀	古書わらべ蒐紙目録 絵葉書と古写真 第三号	古書わらべ	2013年	古書わらべ
公益財団法人 鶴島報効会	生花 去風流—最後の家元・松旭堂露山	公益財団法人 鶴島報効会	2013年	公益財団法人 鶴島報効会 微古館
江田真毅	北海道大学総合博物館ニュース 第27号	北海道大学総合博物館	2013年	北海道大学総合博物館
東京文化財研究所	東京文化財研究所概要2013	東京文化財研究所	2013年	東京文化財研究所
東京文化財研究所	TOBUNKEN NEWS DIGEST no.12	National Research Institute for Cultural Properties	2012年	東京文化財研究所
東京文化財研究所	TOBUNKEN NEWS DIGEST no.13	National Research Institute for Cultural Properties	2013年	東京文化財研究所
東京大学史料編纂所附属 画像史料解析センター	東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター通信	東京大学史料編纂所	2013年	東京大学史料編纂所

著者・編者	書名	発行	発行年	寄贈元
東京大学史料編纂所附属 画像史料解析センター	東京大学史料編纂所研究成果報告2013-2 史料デジタル収集の体系化に基づく 歴史オントロジー構築の研究	東京大学史料編纂所	2013年	東京大学史料編纂所
小林快次	ワニと恐竜の共存—巨大ワニと恐竜の世界—	北海道大学総合博物館	2013年	北海道大学総合博物館
東京国立博物館 神戸市立博物館 名古屋博物館 九州国立博物館 NHK、NHKプロモーション 毎日新聞社	日中国交正常化40周年 特別展 中国 王朝の至宝	NHK NHKプロモーション 毎日新聞社	2012年	九州国立博物館
九州国立博物館	トピック展示 視覚革命！異国と出会った江戸絵画 神戸市立博物館名品展	九州国立博物館	2013年	九州国立博物館
全日本博物館学会事務局	学会ニュースNo105	全日本博物館学会	2013年	全日本博物館学会
新潟県立歴史博物館	新潟県立歴史博物館 研究紀要 第14号	新潟県立歴史博物館	2013年	新潟県立歴史博物館
新潟県立歴史博物館	弥生時代のいがた	新潟県立歴史博物館	2013年	新潟県立歴史博物館
公益財団法人 博物館協会	博物館研究 Vol.48 No.9 通巻543号	公益財団法人 博物館協会	2013年	公益財団法人 博物館協会
文化環境研究所	Cultivate No.41	文化環境研究所	2013年	文化環境研究所
玉川大学教育博物館	玉川大学教育博物館 館報 第11号 2012年度	玉川大学教育博物館	2013年	玉川大学教育博物館
玉川大学教育博物館	博物館ニュース SHU No.41	玉川大学教育博物館	2013年	玉川大学教育博物館
公益財団法人 日本博物館協会	博物館研究vol.48 No.10 通巻544号	公益財団法人 日本博物館協会	2013年	公益財団法人 日本博物館協会
公益財団法人 日本博物館協会	子どもとミュージアム 学校で使えるミュージアム活用ガイド	ぎょうせい	2013年	公益財団法人 日本博物館協会
福岡市博物館	こんなにすごい！！ 栄西さんのヒミツ	福岡市博物館	2010年	福岡市博物館
福岡市博物館	博多探検マップ	福岡市博物館	2010年	福岡市博物館
京都文化博物館	旅順博物館 所蔵品展—幻の西域コレクション—	京都文化博物館	1992年	福岡市博物館
福岡市博物館	平成4年度福岡市博物館特別企画展 友好館提携一周年記念「唐代壁画展」	福岡市博物館	1992年	福岡市博物館
福岡市博物館	福岡市博物館開館記念展 「対外交流史 I —大航海時代と博多—」	福岡市博物館	1990年	福岡市博物館
日本経済新聞社	Treasures of Mongolia モンゴル秘宝展 —チンギス・ハーンと草原の記憶	日本経済新聞社	1996年	福岡市博物館
福岡市博物館	装い 日本女性の美 旧吉川観方コレクション	福岡市博物館	1995年	福岡市博物館
NHK	法隆寺昭和資財帳調査完成記念 国宝法隆寺展	NHK	1994年	福岡市博物館
福岡市博物館	遊・芸の美	福岡市博物館	1997年	福岡市博物館
福岡市博物館	博多の豪商 嶋井宗室展	福岡市博物館	1997年	福岡市博物館
福岡市博物館	遙かなる長安 金銀器と建築装飾展 —唐朝文化の輝きをもとめて—	福岡市博物館	1996年	福岡市博物館
福岡市博物館	黒田武士人物手帖	福岡市博物館	2008年	福岡市博物館
浮世絵連絡協議会	浮世絵連絡協議会第1回合同企画展 風俗展	浮世絵連絡協議会	2002年	福岡市博物館
朝日新聞社	平戸・松浦家名宝展 —はるかなる千年の歴史—	朝日新聞社	2000年	福岡市博物館
読売新聞社	大「顔」展	読売新聞社	2000年	福岡市博物館
福岡市博物館	玄界灘の江戸時代	福岡市博物館	1997年	福岡市博物館
公益財団法人 日本博物館協会	博物館研究Vol.48 No.11	公益財団法人 日本博物館協会	2013年	公益財団法人 日本博物館協会
東京大学史料編纂所附属 画像史料解析センター	東京大学史料編纂所附属 画像史料解析センター通信 第63号	東京大学史料編纂所	2013年	東京大学史料編纂所
京都大学文学書館	京都大学文学書館だより 第25号	京都大学文学書館	2013年	京都大学文学書館
八代市立博物館 未来の森ミュージアム	秀吉が八代にやって来た 平成25年度秋季特別展覧会	八代市立博物館 未来の森ミュージアム	2013年	八代市立博物館 未来の森ミュージアム
西南学院 舞鶴幼稚園	まいづる創立100年誌 ひかりのことしてあゆみなさい	西南学院 舞鶴幼稚園	2013年	西南学院100周年事業推進室
全日本博物館学会事務局	学会ニュース No.106	全日本博物館学会事務局	2013年	全日本博物館学会
学習院大学史料館内 学芸員課程事務室 学芸員課程委員会	学芸員—Bulletin for Curator's Course no.17	学習院大学史料館内 学芸員課程事務室 学芸員課程委員会	2013年	学習院大学 学芸員課程事務室
学習院大学・永青文庫・東洋文庫	学習院・永青文庫・東洋文庫 三館連携展示「東洋学の歩いた道」	学習院大学	2013年	学習院大学
公益財団法人 日本博物館協会	博物館研究 Vol.48 No.12 通巻546号	公益財団法人 日本博物館協会	2013年	公益財団法人 日本博物館協会
公益財団法人 日本博物館協会	平成25年度 会員名簿	公益財団法人 日本博物館協会	2013年	公益財団法人 日本博物館協会
大分県立歴史博物館	おおいた歴博 No.39	大分県立歴史博物館	2013年	大分県立歴史博物館
大分県立歴史博物館	おおいた歴博 No.40	大分県立歴史博物館	2013年	大分県立歴史博物館
大分県立歴史博物館	おおいた歴博 No.41	大分県立歴史博物館	2013年	大分県立歴史博物館
大分県立歴史博物館	みほとけのすがた	大分県立歴史博物館	2013年	大分県立歴史博物館
大分県立歴史博物館	平成25年度特別展図録 「いきものと生きる—いのちの物語—」	大分県立歴史博物館	2013年	大分県立歴史博物館
からくり儀右衛門展実行委員会	からくり儀右衛門展	からくり儀右衛門展実行委員会	2013年	久留米市役所
公益財団法人 徳川記念財団	公益財団法人 徳川記念財団 会報vol.22	公益財団法人 徳川記念財団	2013年	公益財団法人 徳川記念財団
公益財団法人 日本博物館協会	博物館研究 Vol.49 No.1 通巻547号	公益財団法人 日本博物館協会	2014年	公益財団法人 日本博物館協会
福島県立博物館	季刊博物館だより 111号	福島県立博物館	2013年	福島県立博物館

著者・編者	書名	発行	発行年	寄贈元
加藤幸治・沼田愛	一人ひとりのくらしの風景がみえてくる —社鹿半島のくらし展—	東北学院大学博物館	2014年	東北学院大学博物館
同志社大学歴史資料館	同志社大学歴史資料館 館報第16号	同志社大学歴史資料館	2014年	同志社大学歴史資料館
公益財団法人 日本博物館協会	博物館研究Vol.49 No.2 通巻548号	公益財団法人 日本博物館協会	2014年	公益財団法人 日本博物館協会
全日本博物館学会	学会ニュースvol.107	全日本博物館学会	2014年	全日本博物館学会
江田真毅・成田佳子	北海道大学総合博物館ニュース 第28号	北海道大学総合博物館	2013年	北海道大学総合博物館
東京文化財研究所	TOBUNKEN NEWS 2013 No.54	東京文化財研究所	2013年	東京文化財研究所
小郡市教育委員会	小郡市文化財調査報告書第268集 上岩田遺跡13	小郡市教育委員会	2013年	小郡市教育委員会
小郡市教育委員会	小郡市文化財調査報告書第269集 埋蔵文化財調査報告書5	小郡市教育委員会	2013年	小郡市教育委員会
小郡市教育委員会	小郡市文化財調査報告書第270集 津古永前遺跡	小郡市教育委員会	2013年	小郡市教育委員会
小郡市教育委員会	小郡市文化財調査報告書第271集 三沢宮ノ前遺跡3	小郡市教育委員会	2013年	小郡市教育委員会
小郡市教育委員会	小郡市文化財調査報告書第272集 福童法司遺跡	小郡市教育委員会	2013年	小郡市教育委員会
小郡市教育委員会	小郡市文化財調査報告書第273集 小坂井連輪遺跡3	小郡市教育委員会	2013年	小郡市教育委員会
小郡市教育委員会	小郡市文化財調査報告書第274集 小郡博多道遺跡	小郡市教育委員会	2013年	小郡市教育委員会
新潟市歴史博物館	帆船成林10周年記念号	新潟市歴史博物館	2014年	新潟市立歴史博物館
公益財団法人 日本博物館協会	博物館研究 Vol.49 No.3 通巻549号	公益財団法人 日本博物館協会	2014年	公益財団法人 日本博物館協会
学習院大学学芸員課程博物館 実習履修者	漆いろいろ 其の三	学習院大学学芸員課程事務局	2014年	学習院大学学芸員課程事務局
金井紀子 (神戸市立小磯記念美術館)	関西学院の美術家～知られざる神戸モダニズム～	神戸市立小磯記念美術館	2013年	関西学院大学博物館開設準備室
琉球大学資料館	琉球大学資料館(風樹館)収蔵資料目録第1号	琉球大学資料館	2009年	琉球大学資料館
琉球大学資料館	琉球大学資料館(風樹館)収蔵資料目録第2号	琉球大学資料館	2010年	琉球大学資料館
琉球大学資料館	琉球大学資料館(風樹館)収蔵資料目録第3号	琉球大学資料館	2010年	琉球大学資料館
琉球大学資料館	琉球大学資料館(風樹館)収蔵資料目録第4号	琉球大学資料館	2010年	琉球大学資料館
琉球大学資料館	琉球大学資料館(風樹館)収蔵資料目録第5号	琉球大学資料館	2011年	琉球大学資料館
琉球大学資料館	琉球大学資料館(風樹館)収蔵資料目録第6号	琉球大学資料館	2011年	琉球大学資料館
琉球大学資料館	琉球大学資料館(風樹館)収蔵資料目録第7号	琉球大学資料館	2012年	琉球大学資料館
琉球大学資料館	琉球大学資料館(風樹館)収蔵資料目録第8号	琉球大学資料館	2013年	琉球大学資料館
ひめゆり平和祈念資料館	ひめゆり平和祈念資料館20周年記念誌 未来へつなぐひめゆりの心	ひめゆり平和祈念資料館	2010年	ひめゆり平和祈念資料館
鹿児島国際大学 国際文化学部博物館実習施設 考古学ミュージアム	鹿児島国際大学考古学ミュージアム調査研究報告 第11集	鹿児島国際大学 国際文化学部博物館実習施設 考古学ミュージアム	2014年	鹿児島国際大学 国際文化学部博物館実習施設 考古学ミュージアム
学習院大学史料館	ミュージアム・レター第24号	学習院大学史料館	2014年	学習院大学史料館
同志社大学歴史資料館 (公財)京都市埋蔵文化財研究所	同志社大学歴史資料館調査研究報告第12集 相国寺旧境内・上京遺跡発掘調査報告書 同志社大学烏丸キャンパス建設に伴う発掘調査	同志社大学歴史資料館	2013年	同志社大学歴史資料館
立正大学博物館	立正大学博物館館報 万吉だより 第18号	立正大学博物館	2014年	立正大学博物館
全国大学博物館学講座協議会	全博協研究紀要	全国大学博物館学講座協議会	2014年	全国大学博物館学講座協議会
全国大学博物館学講座協議会	全博協会報	全国大学博物館学講座協議会	2014年	全国大学博物館学講座協議会
大分県立歴史博物館	大分県立歴史博物館 総合案内	大分県立歴史博物館	2014年	大分県立歴史博物館
國學院大學博物館学研究室	國學院大學博物館学紀要 第38輯	國學院大學博物館学研究室	2014年	國學院大學博物館学研究室
対馬市教育委員会 文化財課	対馬市の文化財	対馬市教育委員会 文化財課	2010年	対馬市教育委員会 文化財課
北海道大学総合博物館	北海道大学総合博物館 ミュージアムマイスター 認定コースのご案内	北海道大学総合博物館	2014年	北海道大学総合博物館

購入図書一覧

著者・編者	書名	発行	発行年	購入元
中央公論社	中央公論 平成25年2月号～平成26年1月号	中央公論社	2013年	中央公論社
生活の友社	美術の窓 2013年2月号～2014年1月号	生活の友社	2013年	生活の友社
新潮社	芸術新潮 2013年2月号～2014年1月号	新潮社	2013年	新潮社
アム・プロモーション	ミュゼ103～105	アム・プロモーション	2013年	アム・プロモーション
東京国立近代美術館	東京国立近代美術館所蔵目録 絵画 2004	東京国立近代美術館	2004年	東京国立近代美術館
東京国立近代美術館	たんけん! ども工芸館～タカラモノみつけた～ 東京国立近代美術館工芸館の鑑賞教育プログラム	東京国立近代美術館	2007年	東京国立近代美術館
町田市国際版画美術館	町田市国際版画美術館所蔵目録 日本編	町田市国際版画美術館	1987年	町田市国際版画美術館
町田市国際版画美術館	町田市国際版画美術館所蔵目録 海外編	町田市国際版画美術館	1990年	町田市国際版画美術館
森美術館	森美術館活動記録2003～2008	森美術館	2008年	森美術館
石橋財団ブリヂストン美術館	コレクションの新天地 20世紀美術の息吹	石橋財団ブリヂストン美術館	2008年	石橋財団ブリヂストン美術館

西南学院大学博物館組織

大学博物館

館長 宮崎克則（兼任、国際文化学部教授）
 専門：日本近世史
 江戸時代の風俗・社会・文化・産業・政治について記録史料を利用しながら研究。
 江戸の民衆文化を主体にシーボルトなどの異文化交流史

学芸員 安高 啓明（専任）
 専門：日本近世史、法制史
 江戸幕府司法制度や禁教政策の研究。海外交流史や博物館史、大学博物館についても調査している。

博物館事務室

職員 伊藤 邦厚（参事）

臨時職員 内島 美奈子（本学国際文化研究科博士後期課程）
 山尾 彩香（本学国際文化研究科博士前期課程）
 下園 知弥（本学国際文化研究科博士前期課程）
 出口 智佳子（本学国際文化研究科博士前期課程）
 阿部 大地（本学国際文化学部国際文化学科）

博物館管理運営委員会（西南学院大学博物館管理運営規則第14条～15条）

委員長 宮崎 克則（博物館長）
 委員 朝立 康太郎（博物館学芸員課程主任 本学国際文化学部准教授）
 天野 有（神学部長 本学神学部教授）
 高木 幸二（大学事務長）
 安高 啓明（博物館教員・博物館学芸員）
 伊藤 厚（博物館事務室責任者・参事 事務局嘱託職員）

博物館協議会（西南学院大学博物館協議会規則第3条）

後藤 新治（学芸員資格をもつ大学教員 本学国際文化学部教授）
 朝立 康太郎（博物館学芸員課程主任 本学国際文化学部准教授）
 高木 幸二（大学事務職員 本学大学事務長）
 八尋 太郎（学外の博物館関係者 博多学園理事長・博多高等学校校長）
 有馬 学（学外博物館関係者 福岡市博物館館長）
 三輪 嘉六（学外博物館関係者 九州国立博物館館長）

（2014年9月現在）

西南学院大学博物館年報 第6号

2013

発行日 2014年10月31日

編集発行 西南学院大学博物館
〒814-8511 福岡市早良区西新3-13-1
TEL(092)823-4785 FAX(092)823-4786

印刷 株式会社インテックス福岡
〒812-0892 福岡市博多区東那珂1-15-1
TEL(092)477-7002 FAX(092)477-7003

 西南学院大学